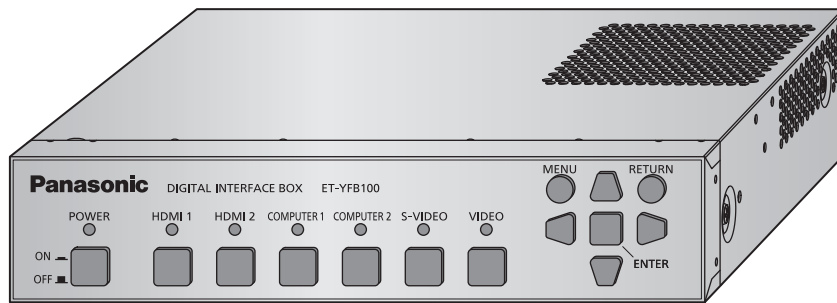



取扱説明書 詳細編

デジタルインターフェースボックス **業務用**

品番 **ET-YFB100**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本書は、2013年5月以降に生産された製品の取扱説明書です。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用の前に“安全上のご注意”（5～7ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

商標について

- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録または出願商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- VGA、XGA は米国 International Business Machines Corporation の商標です。
- SVGA は Video Electronics Standards Association の商標または登録商標です。
- オンスクリーンメニューに使用しているフォントの一部は、株式会社リコーが製作・販売した、リコービットマップフォントです。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では ® や TM マークは明記していません。

本書内のイラストについて

- デジタルインターフェースボックス本体、画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを ( 00 ページ) のように示しています。

用語について

- 本書では、プロジェクターに付属の「ワイヤレスリモコン」を「リモコン」と記載しています。
- 本書では、「EIA 規格準拠のラック」を「ラック」と記載しています。

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本機の特長

自由度の高い設置性

- ▶ 映像・音声・イーサネット・シリアル制御信号をデジタル出力し、CAT5e以上のケーブル1本で、最長100m離れたプロジェクター^{*1}に伝送することができます。

*1：DIGITAL LINK対応のプロジェクターと接続した場合に限る

- ▶ ラックや会議机の天板裏などにも設置しやすい、軽量のコンパクトボディを実現しました。

ユーザーフレンドリーなインターフェース

- ▶ プロジェクター^{*1}のリモコンで、プロジェクターと本機の両方を操作できるので、本機を視聴位置から離れた場所に設置した場合でも、入力信号の切り換えや映像調整を行うことができます。

*1：DIGITAL LINK対応のプロジェクターと接続した場合に限る

接続性の向上

- ▶ HDMI端子はもちろん、各種アナログ入力をデジタルに変換して出力するので、画質の劣化なく伝送することができます。

投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
(👉 12 ページ)



2. 本機とプロジェクターを接続する
(👉 15 ページ)



3. 本機と外部機器を接続する
(👉 15 ページ)



4. ACアダプターを接続する
(👉 20 ページ)



5. 電源を入れる
(👉 21 ページ)



6. 投写する映像を選択する
(👉 22 ページ)

安全上のご注意

安全上のご注意 5

はじめに

ご使用になる前に 8

本機の運搬について 8
 本機の設置について 8
 廃棄について 8
 付属品の確認 9

各部の名称とはたらき 10

本体 10

準備

設置する 12

設置上のご注意 12
 ラックに取り付ける場合 12
 机の天板裏に取り付ける場合 13
 机や棚に置く場合 14

接続する 15

接続の前に 15
 映像、オーディオ機器との接続 (例) 16
 コンピューターとの接続 (例) 17
 DIGITAL LINK 対応機器との接続 18

基本的な使い方

電源を入れる / 切る 20

AC アダプターを接続する 20
 電源を入れる 21
 電源を切る 21

映像を確認する 22

投写する映像を選択する 22

リモコンで操作する 23

入力を切り換える 23
 オンスクリーンメニュー (メインメニュー) を表示する 23

調整と設定

オンスクリーンメニューについて 24

メニュー画面の操作方法 24
 メインメニュー 25
 サブメニュー 25

[入力選択] について 26

入力を切り換える 26

[映像調整] について 27

[システムセクター] 27
 [クランプ位置] 27

[デジタルシネマリアリティー] 28

[位置調整] について 29

[シフト] 29
 [クロックフェーズ] 29
 [オーバースキャン] 29
 [アスペクト] 30
 [入力解像度] 31

[表示言語] について 32

表示言語を切り換える 32

[その他の設定] について 33

[OSD デザイン] 33
 [RGB 同期信号終端抵抗] (RGB 信号入力時のみ対応) 33
 [クローズドキャプション設定] 33
 [バックカラー] 34
 [SXGA モード] 34
 [ワイドモード] 34
 [無信号休止] 34
 [音声設定] 35
 [自動位置補正] 36
 [出力解像度] 36
 [ステータス] 37
 [全設定初期化] 37

その他

お手入れ 38

故障かな! ? 39

困ったとき 40

付録 41

PJLink プロトコルを使用する 41
 <SERIAL IN> 端子について 42
 <REMOTE IN> 端子について 44
 対応信号リスト 45
 対応 3D 信号リスト 46

仕様 47

外形寸法図 49

保証とアフターサービス 51

保証書 (別添付) 51
 補修用性能部品の保有期間 51
 修理のご依頼について 51



さくいん 52

安全上のご注意



必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。




■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

電源について

異常・故障時には直ちに使用を中止する

 電源プラグを抜く	<p>■ 異常があったときは、電源プラグを抜く</p> <p>〔内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで AC アダプターが損傷を受けたとき、煙や異臭、異音が発生したとき、異常に熱いとき〕 (そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。)</p> <p>⇒ 異常の際、電源プラグをすぐに抜けるように、コンセントを本機の近くに取り付けるか、配線用遮断装置を容易に手が届く位置に設置してください。</p> <p>⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。</p> <p>⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ 電源プラグ (コンセント側)、電源コネクター (AC アダプター側)、AC アダプターのプラグ (本機側) は、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。)</p> <p>⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。</p> <p>■ 電源プラグのほこりなどは、定期的にとる (プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。)</p> <p>⇒ 半年に一度はプラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。</p> <p>⇒ 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。</p>
	<p>■ 電源コード・電源プラグ、電源コネクター・AC アダプターが破損するようなことはしない 〔傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど〕 (傷んだまま使用すると、火災や感電、ショートの原因になります。)</p> <p>⇒ 電源コードや AC アダプターの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p> <p>■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない (たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。)</p> <p>■ 付属の AC アダプター・電源コード以外は使用しない (付属以外の AC アダプター・電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。)</p>

安全上のご注意 (つづき)



警告 (つづき)

電源について



ぬれ手
禁止

- **ぬれた手で電源コード、電源プラグ、電源コネクタ、ACアダプターに触れない**
(感電の原因になります。)



接触禁止

- **雷が鳴り出したら、本機、電源コード、電源プラグ、電源コネクタ、ACアダプターには触れない**
(感電の原因になります。)

ご使用・設置について



- **放熱を妨げない**
【布や紙などを被せない】
(内部が高温になり、故障や火災の原因になることがあります。)
⇒ 本機の天面および側面にある放熱穴をふさがないように設置してください。
- **カーペットやスポンジマットなどのやわらかい面の上で本機を使用しない**
(内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。)
- **湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない**
(火災や感電の原因になることがあります。)
- **内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない**
(ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。)
⇒ 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
⇒ 水などの液体が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。
⇒ 特にお子様にはご注意ください。
- **長時間直接接触して使用しない**
(本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間触れていると、低温やけど^{*1}の原因になります。)
^{*1}：血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人(高齢者)などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



分解禁止

- **分解や改造をしない**
(内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器の故障の原因になります。)
⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

付属品について



- **付属のACアダプター・電源コードは、本機以外の機器では使用しない**
(付属のACアダプターや電源コードを本機以外の機器で使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。)
- **必ず付属のACアダプター・電源コードを使用する**
(付属以外のACアダプター・電源コードを使用すると、火災の原因になることがあります。)
- **付属品(皿ねじ、セット脚、セット脚取付用ねじ、ACアダプター抜け防止金具、ACアダプター抜け防止金具取付用ねじ)は、乳幼児の手の届くところに置かない**
(誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)
⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、医師にご相談ください。



注意

電源について

<p>電源プラグを抜く</p>	<p>■ 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く (電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く (感電の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ (コンセント側) や、電源コネクター (本体側) を持って抜く (コードを引っ張るとコードが破損し、感電、ショートによる火災の原因になることがあります。)</p>

ご使用・設置について

	<p>■ 本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない (バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。また、本機の破損や変形の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 不安定な場所に設置しない (落下などによる本機の破損・変形や、けがの原因になります。)</p>
	<p>■ 机の天板裏に設置する場合は足などが当たる場所に設定しない (取付用のねじが緩んでいると落下することがあります。また、落下すると本機の破損・変形につながります。) ⇒ねじは確実に締めつけてください。</p>
	<p>■ 異常に温度が高くなる所に置かない (外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。) ⇒ 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。</p>
	<p>■ 移動させる場合は、必ず接続線を外す (コードの破損などにより、火災や感電の原因になることがあります。)</p>

付属品について

	<p>■ AC アダプターに強い衝撃を与えない (落とすなどして強い衝撃が加わった AC アダプターをそのまま使用すると、感電、ショートによる火災の原因になることがあります。) ⇒ AC アダプターの修理はお買い上げの販売店にご相談ください。</p>
--	--

ご使用になる前に

本機の運搬について

- 運搬の際は、過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。内部の部品が傷み、故障の原因になります。

本機の設置について

■ 屋外に設置しないでください

本機は室内でご使用ください。

■ 以下の場所には設置しないでください

- 車両・船舶など、振動や衝撃が加わる場所：内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- 照明器具(スタジオ用ランプなど)の近くなどの温度変化が激しい場所(“使用環境条件”(48 ページ))：故障の原因になることがあります。
- 高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。

■ 本機の底面以外を下にして設置しないでください

- 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因となる場合があります。

■ 海拔 2 700 m 以上の場所に設置しないでください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 静電気が起きやすい場所では、十分な遮へい対策を行ってから使用してください

- じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所で本機を使用する場合、DIGITAL LINK や有線 LAN での通信が切れやすくなります。
このような場合は、静電防止マットなどを使用して問題となる静電気やノイズ源を本機やケーブルの近くから取り除いてください。
- まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合があります。
このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

■ 放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります

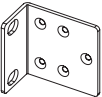
- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端で接地された金属箔あるいは金属配管で〈DIGITAL LINK〉端子に接続している LAN ケーブルを覆ってください。

廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

付属品の確認

以下の付属品が入っていることを確認してください。< > は個数です。

AC アダプター <1> (CF-AA6373A または CF-AA6413A)	電源コード <1> (K2CG3YY00151)	CD-ROM <1> (TXFQB02VLC3)
		
ラック/天板兼用取付金具 <2> (TKZX5277)	ラック取付金具 <1> (TKZX5278-1)	皿ねじ <6> (XSS3+8FJK)
		
セット脚 <4> (TBLX3014)	セット脚取付用ねじ <4>、 AC アダプター抜け防止金具取付用 ねじ <1> (XSB3+6FJK)	AC アダプター抜け防止金具 <1> (TENC5824)
		

お願い

- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。

お知らせ

- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

■ CD-ROM の内容について

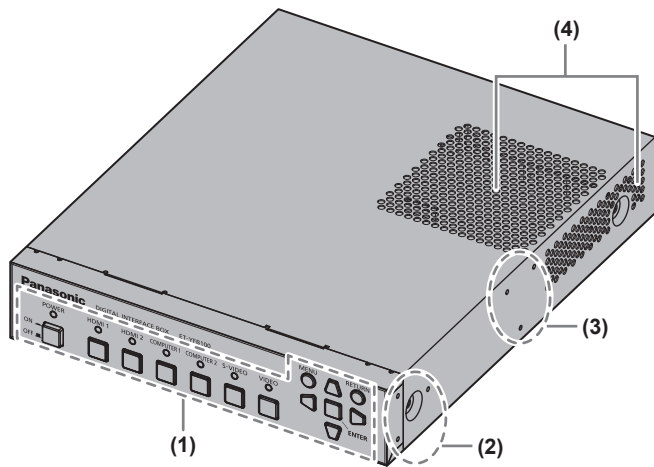
付属品の CD-ROM には、以下の内容が収録されています。

説明書 (PDF)
● 取扱説明書 詳細編

各部の名称とはたらき

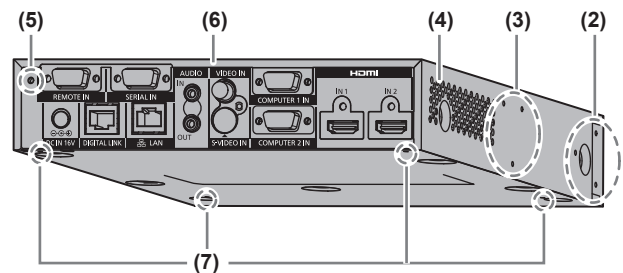
本体

■ 前面・側面



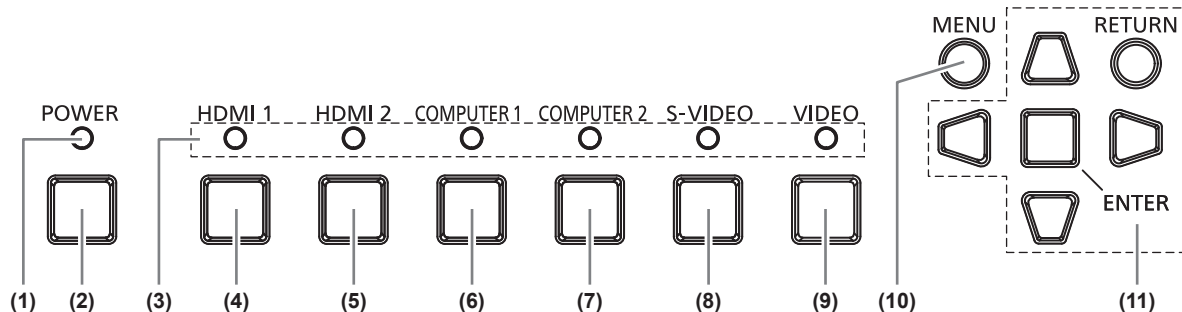
- (1) 本体操作部 (☞ 10 ページ)
- (2) ラック取り付け用ねじ穴
ラックに設置する場合、取付金具固定用のねじ穴です。
- (3) 天板取り付け用ねじ穴
天板裏に設置する場合、取付金具固定用のねじ穴です。
- (4) 放熱穴

■ 後面・底面



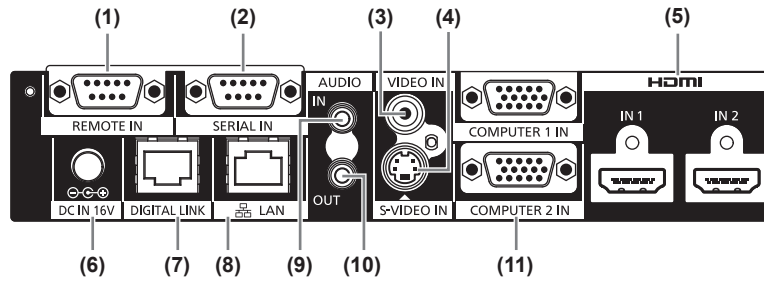
- (5) AC アダプター抜け防止金具取り付け用ねじ穴 (☞ 20 ページ)
- (6) 接続端子部 (☞ 11 ページ)
- (7) セット脚取り付け用ねじ穴
机などに置いて設置する場合、セット脚固定用のねじ穴です。

■ 本体操作部



- (1) 電源インジケータ
電源が入っている状態で緑色に点灯します。電源を切ると消灯します。
- (2) 〈POWER〉ボタン (電源ボタン)
電源を切/入します。
- (3) 入力端子インジケータ
選択されている場合は緑色に点灯します。
- (4) 〈HDMI 1〉ボタン
HDMI 1 に入力を切り換えます。
- (5) 〈HDMI 2〉ボタン
HDMI 2 に入力を切り換えます。
- (6) 〈COMPUTER 1〉ボタン
コンピューター 1 に入力を切り換えます。
- (7) 〈COMPUTER 2〉ボタン
コンピューター 2 に入力を切り換えます。
- (8) 〈S-VIDEO〉ボタン
S-VIDEO に入力を切り換えます。
- (9) 〈VIDEO〉ボタン
VIDEO に入力を切り換えます。
- (10) 〈MENU〉ボタン
メインメニューを表示します。
- (11) ▲▼◀▶選択ボタン / 〈RETURN〉ボタン / 〈ENTER〉ボタン
メニュー画面の操作に使用します。

■ 接続端子部



(1) 〈REMOTE IN〉 端子

外部制御回路を使用して本機を遠隔操作する端子です。

(2) 〈SERIAL IN〉 端子

外部制御するための RS-232C 準拠の端子です。
DIGITAL LINK で接続されたプロジェクター本体を外部制御できます。本機の制御はできません。

(3) 〈VIDEO IN〉 端子

ビデオ信号を入力する端子です。

(4) 〈S-VIDEO IN〉 端子

S ビデオ信号を入力する端子です。

(5) 〈HDMI IN 1〉 / 〈HDMI IN 2〉 端子

HDMI 信号を入力する端子です。

(6) 〈DC IN〉 端子

付属の AC アダプターを接続します。

(7) 〈DIGITAL LINK〉 端子

CAT5e 以上のケーブル (18 ページ) で DIGITAL LINK*1 対応のプロジェクターまたは、当社推奨のツイストペアケーブル伝送器 (受信器) と接続します。

*1 : 「DIGITAL LINK」は、映像・音声・イーサネット・シリアル制御信号をツイストペアケーブルを使用して伝送する技術です。本機は、DIGITAL LINK 対応のプロジェクター、またはツイストペアケーブル伝送器 (受信器) に接続して使用します。DIGITAL LINK 対応のプロジェクターおよび本機で動作確認済みの他社製ツイストペアケーブル伝送器 (受信器) については、弊社 WEB サイト (<https://panasonic.biz/cns/projector/>) をご覧ください。他社製機器の動作確認は、弊社確認項目について実施したものであり、すべての動作を保証するものではありません。他社製機器に起因する操作や性能上の不具合などについては、各メーカーにお問い合わせください。

(8) 〈LAN〉 端子

ネットワークに接続する端子です。
本端子に接続されたコンピューターから DIGITAL LINK で接続されたプロジェクター本体を制御できます。

(9) 〈AUDIO IN〉 端子

音声信号を入力する端子です。

(10) 〈AUDIO OUT〉 端子

本機に入力された音声信号を出力する端子です。

(11) 〈COMPUTER 1 IN〉 / 〈COMPUTER 2 IN〉 端子

コンピューターからの RGB 信号または YCbCr/YpBpR 信号を入力する端子です。

お願い

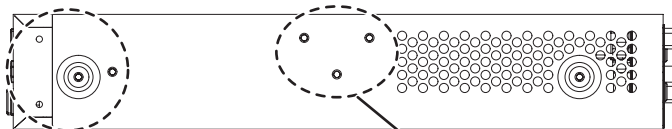
- 本機に直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線してください。

設置する

設置上のご注意

- 本製品をラックや机の天板裏に取り付ける場合は、付属品のラック / 天板兼用取付金具やラック取付金具を使用してください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーまたは、トルクレンチを使用し、規定値内のトルクで締めつけてください。電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。規定以上のトルクで締めつけると、金具取り付け用のねじ穴が破損し、金具を使用した設置ができなくなります。

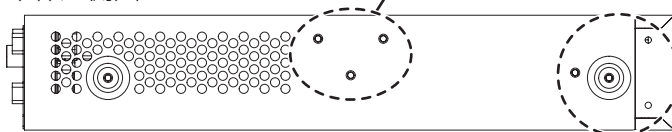
本体右側面



付属のねじ：皿ねじ (M3)

ねじの締めつけトルク：0.8 ± 0.2 N·m

本体左側面



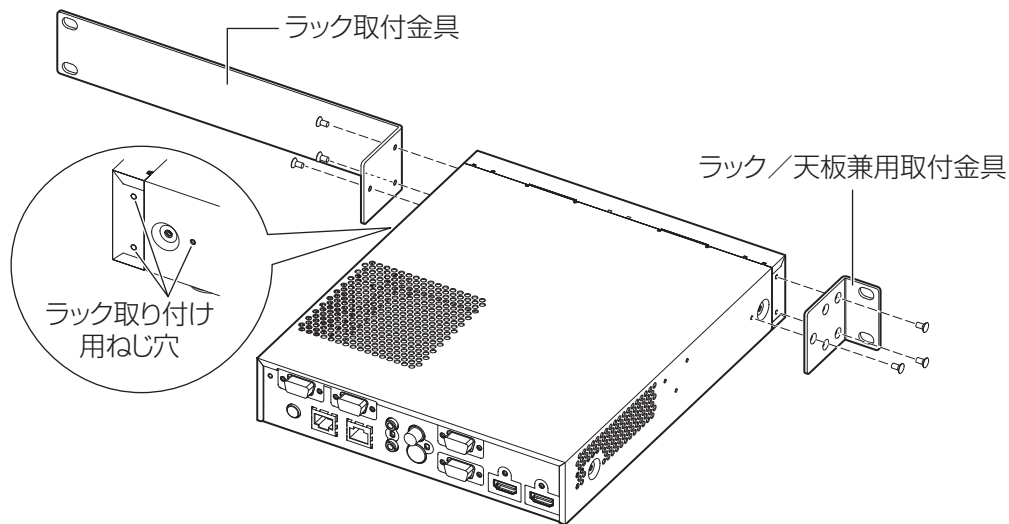
天板取り付け用ねじ穴

ラック取り付け用ねじ穴

ラックに取り付ける場合

1) 付属のラック取付金具を取り付ける

- 本体右または左側面のラック取り付け用ねじ穴に、付属の皿ねじ (3本) で固定します。ねじはしっかりと締めつけてください。



2) 付属のラック / 天板兼用取付金具を取り付ける

- 本体左または右側面のラック取り付け用ねじ穴に、付属の皿ねじ (3本) で固定します。

3) 市販のねじ *1 (4 本) を使用してラックに取り付ける

*1: EIA 規格準拠のラックの場合は M5 または M6 のねじを使用してください。

- ねじは確実に締めつけてください。

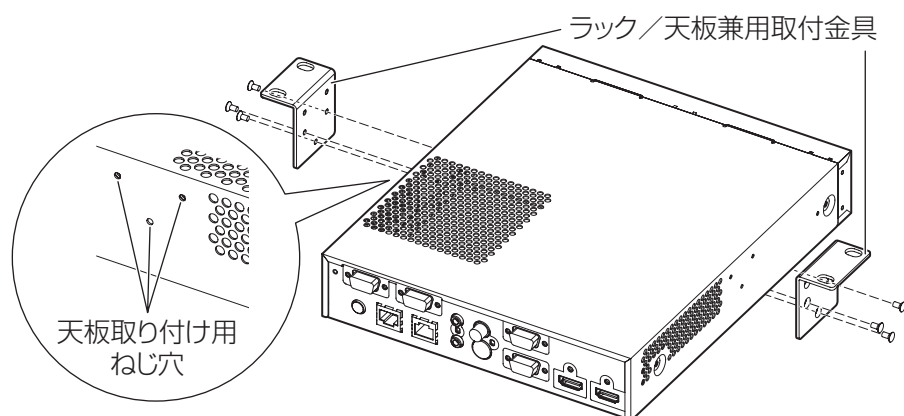
お願い

- 取り付け作業時は、本機がすべらないようにご注意ください。
- 接続端子部に接続したケーブルや付属の AC アダプターは、必ずラックの支柱などに固定し、ケーブルや AC アダプターの質量が本体に直接かからないようにしてください。
- 本機を取り付けたラック内の温度は 40 °C を超えないようにしてください。
- 本機をラックに取り付けるときは、放熱穴をふさがらないよう、本機の上段に 1 U (44.45 mm) のすき間を空けて設置してください。

机の天板裏に取り付ける場合

1) 付属品のラック／天板兼用取付金具を取り付ける (左右 2 か所)

- 本体側面の天板取り付け用ねじ穴に、付属の皿ねじ (各 3 本) で固定します。
- 必ず規定のトルクで締めつけてください。



2) AC アダプターおよび AC アダプター抜け防止金具を取り付ける

- 取り付け方法については“AC アダプターを接続する” (P. 20 ページ) をご覧ください。
- 本機を机の天板裏に取り付けたあとに AC アダプター抜け防止金具を取り付けると、取り付け部分に無理な力がかかり、机を破損したり本機にゆがみが生じることがあります。

3) 市販のねじや木ねじ (4 本) を使用し、天板裏に取り付ける

- 天板が本機の質量に十分耐えることを確認してください。
- ねじや木ねじは確実に締めつけてください。

お願い

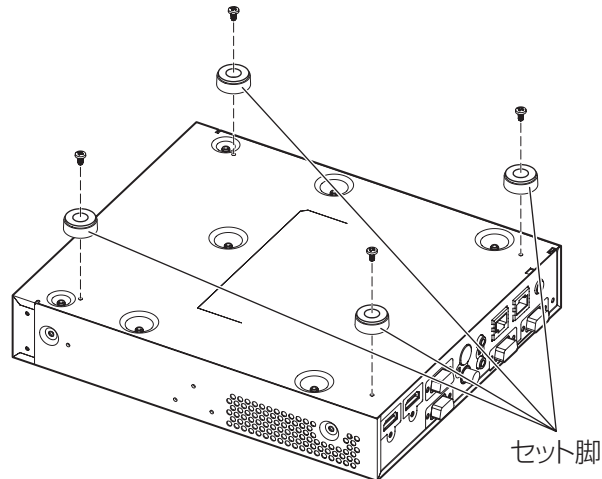
- 机の天板裏に設置するときは、専門の技術者または販売店に依頼してください。
- 本機を天板裏に取り付けた状態で接続端子部が見えなくなる場合は、天板裏に取り付ける前にケーブル類を接続しておくことをお勧めします。
- 取り付け作業時は、本機がすべらないようにご注意ください。机に傷がつくことがあります。
- 机の天板裏に設置する場合は足などが当たる場所に設置しないでください。取り付け用のねじが緩んでいると落下することがあります。また、落下すると本機の破損・変形につながります。
- 接続端子部に接続したケーブルや付属の AC アダプターは、必ず机の脚などに固定し、ケーブルや AC アダプターの質量が本体に直接かからないようにしてください。
- 放熱のため、本機の両側面に 3 cm 以上のすき間を空けてください。
- 本機を使用するときは、本機の上に物を置くなどして、放熱穴をふさがないようにしてください。

設置する (つづき)

机や棚に置く場合

付属のセット脚を取り付ける

- 本体底面のセット脚取り付け用ねじ穴に、付属のセット脚取付用ねじ (4 本) を使用して取り付けます。ねじはしっかりと締めつけてください。




お願い

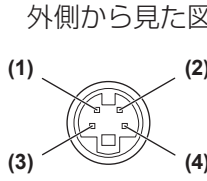
- 机や棚に置く場合には、必ずセット脚を取り付けてください。本体操作部のボタンを押した場合に本機がすべり、机や棚に傷がつくことがあります。
- 本機を裏返すときは、落下・転倒させないよう取り扱いにご注意ください。
- ボタンやインジケーター、および接続端子部を破損しないよう、無理な力のかからない状態で取り付けてください。
- 本体底面にはねじの先端が出ている部分がありますので、けがをしないように注意してください。
- 接続端子部に接続したケーブルや AC アダプターの質量が本体に直接かからないようにしてください。
- 本機を使用するときは、本機の上に物を置くなどして、放熱穴をふさがないようにしてください。また、放熱のため、本機の両側面に 3 cm 以上のすき間を空けてください。

接続する

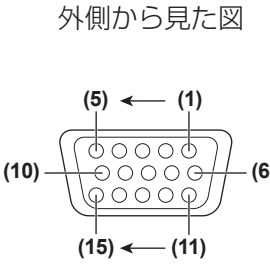
接続の前に

- 接続の前に、本機と接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続をしてください。
- 下記の点に注意して、ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の要因になります。
 - ・ケーブルを本機と接続する機器あるいは本体に接続するときは、ケーブルを持つ前に周辺の金属に触れて身体の帯電を除去した状態で作業してください。
 - ・本機とプロジェクターを接続するケーブルは、必要以上に長くしないでください。長くするほどノイズの影響を受けやすくなります。巻いた状態で使用するとアンテナになりますので、さらにノイズの影響を受けやすくなります。
 - ・ケーブル接続時は、GND が先に接続されるように、本機の接続端子部に真直ぐに挿入してください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、画像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター（TBC）の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号はビデオ信号、S ビデオ信号、アナログ RGB 信号（同期信号は TTL レベル）、およびデジタル信号です。
- コンピューターのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 本機が対応している映像入力信号については“対応信号リスト”（ 45 ページ）をご覧ください。

■〈S-VIDEO IN〉端子のピン配列と信号名

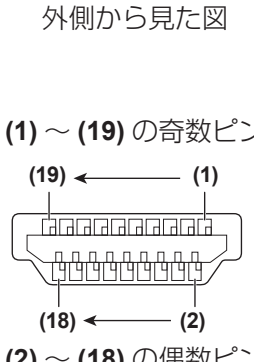
外側から見た図	ピン No.	信号名
	(1)	GND（輝度信号）
	(2)	GND（色信号）
	(3)	輝度信号
	(4)	色信号

■〈COMPUTER 1 IN〉 / 〈COMPUTER 2 IN〉端子のピン配列と信号名

外側から見た図	ピン No.	信号名
	(1)	R/P _R
	(2)	G/G・SYNC/Y
	(3)	B/P _B
	(12)	DDC データ
	(13)	HD/SYNC
	(14)	VD
	(15)	DDC クロック

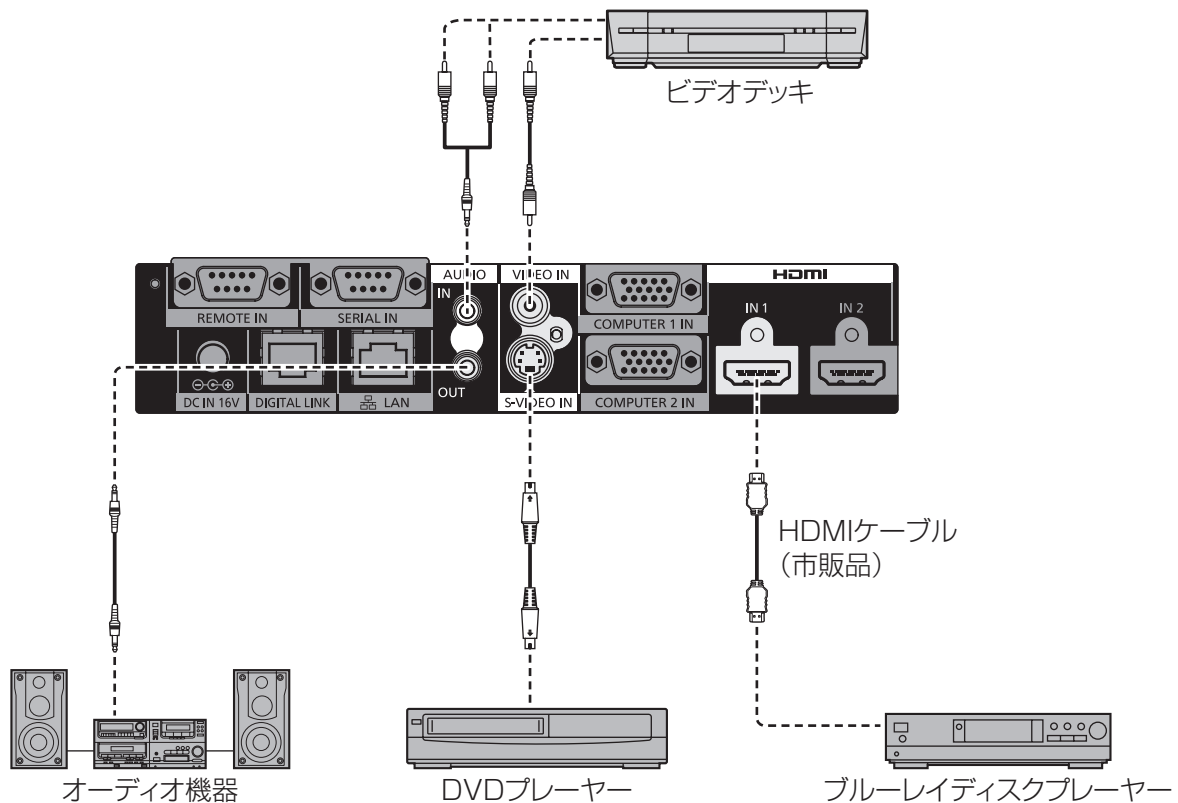
(4)、(9) は未使用です。
(5)～(8)、(10)、(11) は GND 端子です。

■〈HDMI IN 1〉 / 〈HDMI IN 2〉端子のピン配列と信号名

外側から見た図	ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
 <p>(1)～(19)の奇数ピン</p> <p>(19) ← (1)</p> <p>(18) ← (2)</p> <p>(2)～(18)の偶数ピン</p>	(1)	T.M.D.S データ 2 +	(11)	T.M.D.S クロックシールド
	(2)	T.M.D.S データ 2 シールド	(12)	T.M.D.S クロッキー
	(3)	T.M.D.S データ 2 -	(13)	CEC
	(4)	T.M.D.S データ 1 +	(14)	—
	(5)	T.M.D.S データ 1 シールド	(15)	SCL
	(6)	T.M.D.S データ 1 -	(16)	SDA
	(7)	T.M.D.S データ 0 +	(17)	DDC/CEC GND
	(8)	T.M.D.S データ 0 シールド	(18)	+5 V
	(9)	T.M.D.S データ 0 -	(19)	ホットプラグ検出
	(10)	T.M.D.S クロック+		

接続する (つづき)

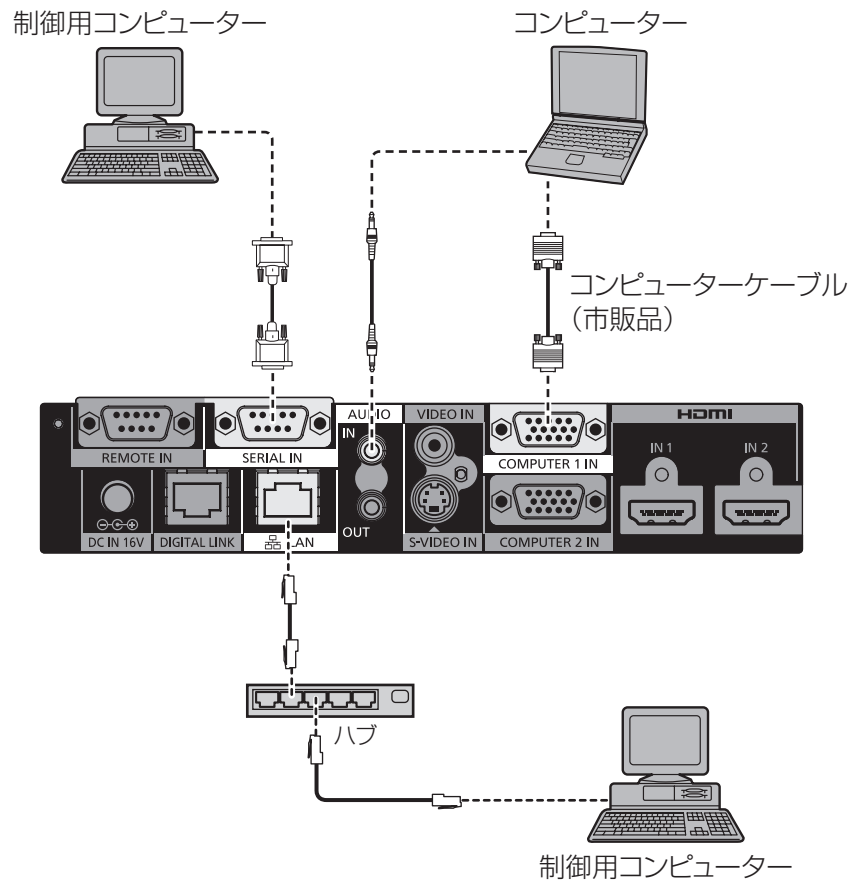
映像、オーディオ機器との接続 (例)



お知らせ

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。HDMI 規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機は HDMI/DVI 変換ケーブルを使用することで、DVI 端子がある外部機器とも接続できますが、一部の機器では、映像が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- [音声入力選択] の設定を間違えると、音声がでないなど、正常に動作しない場合があります。(👉 35 ページ)
- 本機はピエラリンク (HDMI) に対応していません。

コンピューターとの接続 (例)



お願い

- コンピューターや外部機器に接続する際、各々の機器に付属の電源コードとシールドされた市販のケーブルをご使用ください。
- 〈SERIAL IN〉端子と〈LAN〉端子は、位置が近いため、両方にケーブルを接続しているときは、〈LAN〉端子に接続されているケーブルの取り外しが難しくなる場合があります。〈LAN〉端子に接続しているケーブルを取り外すときは、あらかじめ、〈SERIAL IN〉端子に接続しているケーブルを取り外してください。

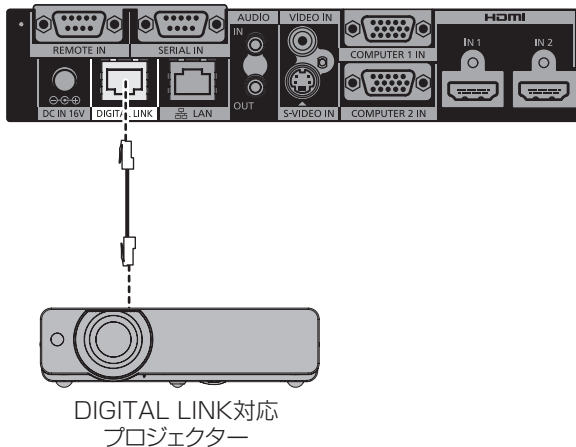
お知らせ

- 〈SERIAL IN〉端子に接続する場合は、“〈SERIAL IN〉端子について” (👁️ 42 ページ) をご覧ください。

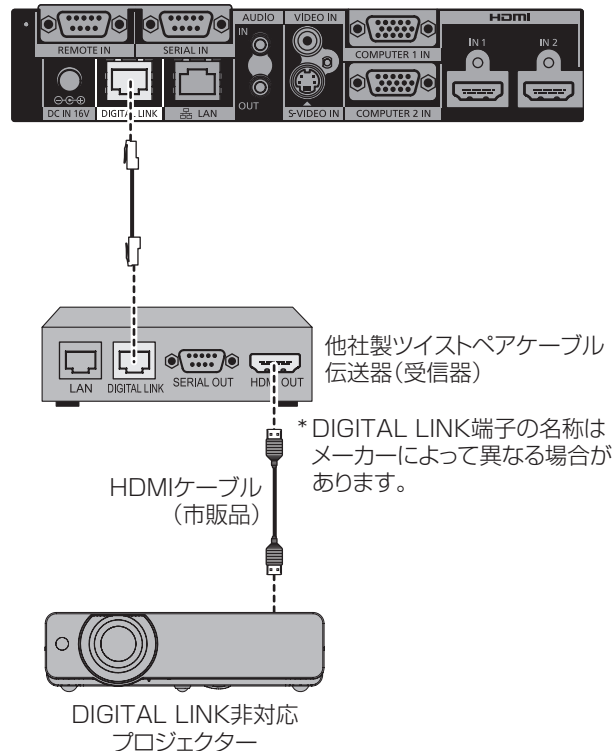
DIGITAL LINK 対応機器との接続

接続

● DIGITAL LINK対応プロジェクターと接続する場合



● DIGITAL LINKに対応していないプロジェクターと接続する場合



お願い

- 他社製ツイストペアケーブル伝送器(受信器)を使用して、プロジェクターに接続を行うとき、他社製ツイストペアケーブル伝送器(受信器)とプロジェクターの間に別のツイストペアケーブル伝送器(送信器)を経由させないでください。
映像、音声途切れたり乱れたりする原因となります。
- 本機とDIGITAL LINK対応プロジェクターの間、および本機とツイストペアケーブル伝送器(受信器)の間には、ハブを使用しないでください。
- DIGITAL LINK接続用のケーブル配線工事は、専門の技術者または販売店に依頼してください。工事の不備によりケーブル伝送特性が得られず、映像や音声途切れたり乱れたりする原因となります。
- ケーブルは、次の条件に適合したケーブルをお使いください。
 - ・CAT5e以上の規格に適合
 - ・シールドタイプ(コネクタ含む)
 - ・ストレート結線
 - ・単線
- ケーブル設置時にはケーブルテスターやケーブルアナライザーなどを使用して、ケーブルの特性がCAT5e以上の特性を満たしていることをご確認ください。
途中に中継コネクタを介している場合は、そちらも含んで測定してください。
- 外部からのノイズだけでなく、内部からのノイズにも影響を受けやすくなりますので、できるだけケーブルは巻かずに引き伸ばした状態で、設置・使用してください。
- ケーブルを強い力で引っ張らないでください。また、無理に曲げたり折りたたまないようにしてください。
- 他のケーブル、特に電源ケーブルなどといっしょに束ねないで、併走する距離をできるだけ離して設置してください。
- DIGITAL LINKに対応しているプロジェクターと接続する場合、ケーブル設置後にプロジェクターのDIGITAL LINKステータスメニューを開き、信号品質が-12dB以下であることを確認してください。

お知らせ

- 伝送可能距離は最長 100 m です。これを上回ると映像や音声途切れたり、LAN で誤動作することがあります。最大伝送距離以上でのご使用は、当社サポートの対象外となりますので、ご注意ください。
- DIGITAL LINK 対応していない当社製プロジェクターと接続する場合、当社推奨のツイストペアケーブル伝送器 (受信器) が必要です。本機で動作確認済みの他社製ツイストペアケーブル伝送器 (受信器) については、弊社 WEB サイト (<https://panasonic.biz/cns/projector/>) をご覧ください。他社製機器の動作確認は、弊社確認項目について実施したものであり、すべての動作を保証するものではありません。他社製機器に起因する操作や性能上の不具合などについては、各メーカーにお問い合わせください。

● 他社製ツイストペアケーブル伝送器 (受信器) 使用時の機能制限

本機を当社推奨のツイストペアケーブル伝送器 (受信器) を介して DIGITAL LINK に対応していないプロジェクターと接続した場合、次の機能が使用できません。

- ・ プロジェクターのリモコンによる本機の操作
- ・ 無信号休止機能

電源を入れる / 切る

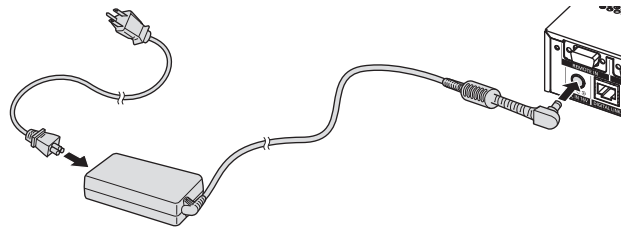
AC アダプターを接続する

本機の〈POWER〉ボタンがOFFの状態になっていることを確認してから、ACアダプターおよび電源コードを接続してください。

ACアダプターと電源コードの詳しい取り扱いについては“安全上のご注意”（☞ 5～7ページ）をご覧ください。

■ 取り付けかた

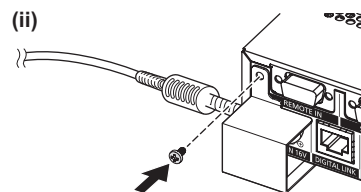
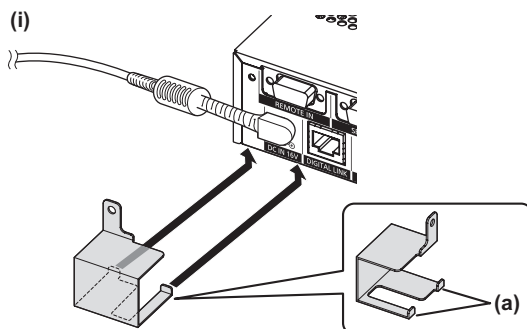
- 1) ACアダプターに電源コードをしっかりと奥まで差し込み、接続端子部の〈DC IN〉端子にACアダプターのプラグをしっかりと奥まで差し込む



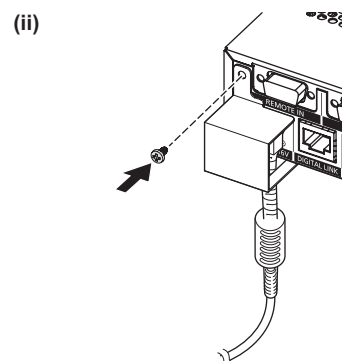
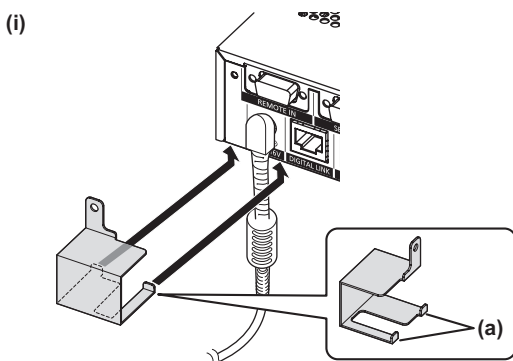
- 2) 付属のACアダプター抜け防止金具を本機に取り付ける

- (i) ACアダプター抜け防止金具のつめ(a)を本機底面の穴(2か所)に引っ掛けます。
 - ・状況に応じてACアダプターのプラグを、垂直方向または水平方向に回転させてください。
- (ii) ACアダプターのプラグを覆うように取り付け、付属のACアダプター抜け防止金具取付用ねじで固定します。ねじはしっかりと締めつけてください。

● プラグを水平方向に接続した場合



● プラグを垂直方向に接続した場合

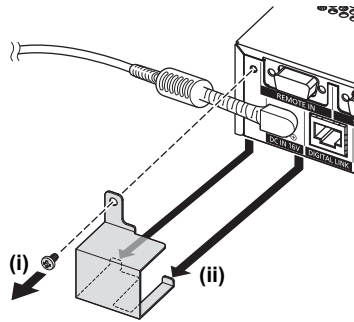


お願い

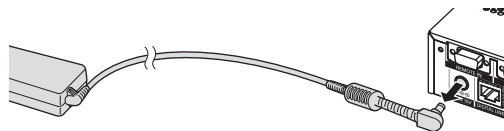
- 本機の前面を下にして取り付け作業をしないでください。
- 本機に接続したケーブルや付属のACアダプターは、必ず機の脚などに固定し、ケーブルやACアダプターの質量が本体に直接かからないようにしてください。

■ 取り外しかた

- 1) 本機の〈POWER〉ボタンが OFF の状態になっていることを確認し、電源プラグを持ってコンセントから抜く
- 2) AC アダプター抜け防止金具を外す
 - (i) AC アダプター抜け防止金具取付用ねじを取り外します。
 - (ii) AC アダプター抜け防止金具を取り外します。



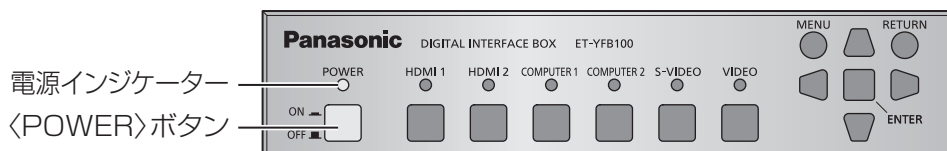
- 3) AC アダプターのプラグを持って、〈DC IN〉端子から抜く



電源を入れる

電源を入れる前に外部機器の接続を確認してください。

- 1) 電源プラグをコンセントに接続する
- 2) 〈POWER〉ボタンを押して電源を入れる
 - 電源インジケータが点灯していることを確認します。



お知らせ

- 〈AUDIO OUT〉端子に音響システムを接続してご使用の場合、本機の電源を切/入した時に、外部の音響システムから雑音が聞こえることがあります。その場合は、音響システムの電源を切った状態で本機の電源を切/入してください。

電源を切る

- 〈POWER〉ボタンを押して電源を切る
 - 電源インジケータが消灯していることを確認します。

お知らせ

- 〈AUDIO OUT〉端子に音響システムを接続してご使用の場合、本機の電源を切/入した時に、外部の音響システムから雑音が聞こえることがあります。その場合は、音響システムの電源を切った状態で本機の電源を切/入してください。

映像を確認する

外部機器の接続(👁️ 15 ページ)、ACアダプターの接続(👁️ 20 ページ)を確認し、電源を入れてください(👁️ 21 ページ)。投写する映像を選択し、選択した映像がプロジェクターから投写されていることを確認してください。

投写する映像を選択する

映像の入力を切り換えます。

1) 外部機器の電源を入れる

- プロジェクターおよびブルーレイディスクプレーヤーなど、外部機器の電源を入れてください。
- 接続する外部機器によっては、外部機器側で操作が必要な場合があります。外部機器の取扱説明書などをご覧ください。

2) プロジェクターのリモコンの DIGITAL LINK ボタンを押す、またはプロジェクター本体の入力切換ボタンで、DIGITAL LINK 入力を選択する

- プロジェクターによって操作方法が異なる場合があります。

3) 本体操作部の〈HDMI 1〉ボタン、〈HDMI 2〉ボタン、〈COMPUTER 1〉ボタン、〈COMPUTER 2〉ボタン、〈S-VIDEO〉ボタン、または〈VIDEO〉ボタンを押す

- 選択した端子に入力されている信号の映像が投写されます。

お願い

- 外部機器や再生するブルーレイディスク、DVD などによっては、正常に映像が映らない場合があります。[映像調整]の[システムセレクター](👁️ 27 ページ)を設定してください。

リモコンで操作する

本機は、接続しているプロジェクター(DIGITAL LINK対応機種のみ)のリモコンで操作できます。リモコンによっては一部ボタンがない場合や動作が異なる場合があります。

- 接続しているプロジェクター本体のリモコン受信部に蛍光灯などの強い光が当たっていると、操作できなくなる場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

入力を切り換える

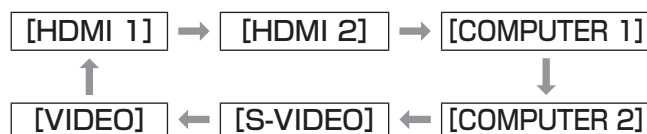
プロジェクターから投写する入力を切り換えることができます。

1) リモコンの DIGITAL LINK ボタンを押す

- プロジェクターの入力が DIGITAL LINK に切り換わり、本機の入力切換メニューが表示されます。

2) リモコンの▲▼ボタンで入力を選択し、ENTER ボタンを押す

- リモコンの DIGITAL LINK ボタンを押しても操作できます。ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



オンスクリーンメニュー（メインメニュー）を表示する

メインメニューから各種設定を変更できます。

1) リモコンの DIGITAL LINK ボタンを押す

- [入力選択]メニューが表示されます。

2) リモコンの MENU ボタンを押す

- オンスクリーンメニュー（メインメニュー）が表示されます。
- リモコンに RETURN ボタンがある場合は、同様に操作できます。

お知らせ

- オンスクリーンメニュー（メインメニュー）についての詳しい操作方法は、“オンスクリーンメニューについて”（ 24 ページ）をご覧ください。

オンスクリーンメニューについて

本機の各種設定や調整は、オンスクリーンメニュー（メニュー画面）を使用します。

メニュー画面の操作方法

■ 操作の手順

MENU



1) 本体操作部の〈MENU〉ボタンを押す

- メインメニュー画面が表示されます。

ET-YFB100	DIGITAL INTERFACE BOX	
入力選択	● HDMI 1	
	HDMI 2	
映像調整	COMPUTER 1	
	COMPUTER 2	
位置調整	S-VIDEO	
	VIDEO	
表示言語		
その他の設定		

- DIGITAL LINK 対応のプロジェクトと接続し、本機をリモコンで操作する場合、メインメニュー画面を表示させるための手順がプロジェクトの機種によって異なります。
 - ・ プロジェクターのメインメニューから DIGITAL LINK を選択する場合
 - ・ プロジェクターのネットワークメニューの Digital Interface Box メニューを選択する場合操作手順は、ご使用のプロジェクトの取扱説明書をご覧ください。

2) ▲▼ボタンを押してメインメニュー項目を選ぶ

- 選択中の項目は黄色のカーソルで表示されます。
- 選択したメインメニュー項目のサブメニューが右側に表示されます。

ET-YFB100	DIGITAL INTERFACE BOX	
入力選択	システムセレクター	オート
	クランプ位置	— +24
映像調整	デジタルシネマリアリティー	
位置調整		
表示言語		
その他の設定		

3) 〈ENTER〉ボタンを押す

- サブメニューの項目を選択できるようになります。

4) ▲▼ボタンを押してサブメニュー項目を選択し、◀▶ボタンを押して設定の切り換えや調整を行う

- 項目によっては◀▶ボタンを押すと、下図のようなバースケールの個別調整画面が表示され



- 項目名だけの項目は、〈ENTER〉ボタンを押すと、次の画面が表示され、詳細な設定ができます。

お知らせ

- メニュー画面が表示されている状態で〈RETURN〉ボタンまたは〈MENU〉ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 本機を接続して使用する DIGITAL LINK 対応のプロジェクトの機種によっては、リモコンに RETURN ボタンがない場合があります。
- 本機に入力されている信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目がグレーの文字で表示され、項目は選択できません。
- 信号が入力されていない場合でも、調整できるものがあります。
- 約 5 秒間何も操作せずに放置していると、個別調整画面は自動で消えます。
- メニューの項目については“メインメニュー” (🔍 25 ページ) や“サブメニュー” (🔍 25 ページ) をご覧ください。
- 3D 信号を入力している場合、本機のメニューは表示されません。本機の設定を変更したい場合は、2D 信号を入力するか、信号を入力していない状態で操作してください。
- 3D 信号を入力している場合、本機の設定項目はすべて無効になります。
- カーソルの表示色は、メニューの [OSD デザイン] (🔍 33 ページ) の設定によって異なります。工場出荷時、選択中の項目は黄色のカーソルで表示されます。

■ 調整値を工場出荷時の状態に戻す

リモコンの DEFAULT ボタンを押すと、サブメニュー項目で設定および調整した値が工場出荷時の状態に戻ります。

リモコンの DEFAULT ボタンを押す

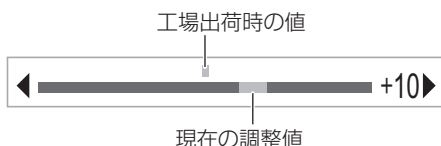
- 表示されている画面によって動作が異なります。
 - ・ サブメニュー画面表示時
表示されているサブメニューの項目が工場出荷時の状態に戻ります。
 - ・ 個別調整画面表示時
調整中の項目のみ工場出荷時の状態に戻ります。



オンスクリーンメニューについて (つづき)






お知らせ

- 本機を接続して使用する DIGITAL LINK 対応のプロジェクトターの機種によっては、リモコンに DEFAULT ボタンがない場合があります。
- すべての設定を一度に工場出荷時の状態に戻す場合は、メニューの [その他の設定] → [全設定初期化] (👉 37 ページ) をご覧ください。
- 個別調整画面のバースケールの上にあるマークは、工場出荷時の値を示しています。また、このマークは、入力される信号によって位置が異なります。



メインメニュー

メインメニューには以下の項目があります。メインメニュー項目を選択すると、サブメニューの選択画面に移ります。

メインメニュー項目	
	[入力選択]
	[映像調整]
	[位置調整]
	[表示言語]
	[その他の設定]

サブメニュー

選択したメインメニュー項目のサブメニューが表示され、各項目の設定・調整ができます。

■ [入力選択]

項目の詳細 (👉 26 ページ)

■ [映像調整]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[システムセクター]	[オート]	27
[クランプ位置]	[24] *1	27
[デジタルシネマリアリティー]	[オン]	28

*1： 入力信号により異なります。

お知らせ

- 映像モードによって工場出荷時の値が異なる場合があります。
- サブメニューの項目、および工場出荷時の値は、入力端子の選択により表示が異なります。

■ [位置調整]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[シフト]	[0]	29
[クロックフェーズ]	[0]	29
[オーバースキャン]	[0] *1	29
[アスペクト]	[オート] *1	30
[入力解像度]	—	31

*1： 入力信号により異なります。

お知らせ

- サブメニューの項目、および工場出荷時の値は、選択中の入力端子により表示が異なります。

■ [表示言語]

項目の詳細 (👉 32 ページ)

■ [その他の設定]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[OSD デザイン]	[タイプ 1]	33
[RGB 同期信号終端抵抗]	[低]	33
[クローズドキャプション設定]	[オフ]	33
[バックカラー]	[ブルー]	34
[SXGA モード]	[SXGA]	34
[ワイドモード]	[オート]	34
[無信号休止]	[10分]	34
[音声設定]	—	35
[自動位置補正]	—	36
[出力解像度]	—	36
[ステータス]	—	37
[全設定初期化]	—	37

[入力選択] について

メニュー画面で、メインメニューから [入力選択] を選び、サブメニューを表示させます。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P.24 ページ) をご覧ください。

入力を切り換える

映像の入力を切り換えることができます。

- ▲▼ ボタンで入力を選び、〈ENTER〉 ボタンを押して決定してください。

[HDMI 1]	HDMI 1 に入力を切り換えます。
[HDMI 2]	HDMI 2 に入力を切り換えます。
[COMPUTER 1]	COMPUTER 1 に入力を切り換えます。
[COMPUTER 2]	COMPUTER 2 に入力を切り換えます。
[S-VIDEO]	S-VIDEO に入力を切り換えます。
[VIDEO]	VIDEO に入力を切り換えます。

[映像調整] について

メニュー画面で、メインメニューから [映像調整] を選び、サブメニューから項目を選んでください。メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P. 24 ページ) をご覧ください。

[システムセレクト]

本機は入力信号を自動判別しますが、不安定な信号を入力する場合は、手動でシステム方式を設定します。入力信号に合ったシステム方式を設定してください。

- 1) ▲▼ボタンで [システムセレクト] を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは <ENTER> ボタンを押す
 - [システムセレクト] 個別調整画面が表示されます。
- 3) ◀▶ボタンで [システムセレクト] を切り換える

■ <VIDEO IN> 端子、<S-VIDEO IN> 端子に入力している場合

[オート]、[NTSC]、[NTSC4.43]、[PAL]、[PAL-M]、[PAL-N]、[SECAM]、[PAL60] から選択します。

お願い

- 通常は [オート] に設定してください。
- それぞれのテレビの信号方式に設定を切り換えてください。日本国内では NTSC の信号方式が使われています。

お知らせ

- [オート] は、[NTSC]、[NTSC4.43]、[PAL]、[PAL-M]、[PAL-N]、[SECAM]、[PAL60] の中から自動的に判別します。

■ <COMPUTER 1 IN> 端子、<COMPUTER 2 IN> 端子に入力している場合

● 480i、576i、576p 信号入力時

[オート]、[RGB]、[YCbCr] から選択します。

● VGA60、480p 信号入力時

[オート]、[VGA60]、[480p]、[480pRGB] から選択します。

● 上記以外の動画系信号入力時

[オート]、[RGB]、[YPbPr] から選択します。

お知らせ

- 対応する信号については、“対応信号リスト” (P. 45 ページ) を参照してください。

■ <HDMI IN 1> 端子、<HDMI IN 2> 端子に入力している場合

● 480i、576i、480p、576p 信号入力時

[オート]、[RGB]、[YCbCr] から選択します。

● 上記以外の動画系信号入力時

[オート]、[RGB]、[YPbPr] から選択します。

お知らせ

- 対応する信号については、“対応信号リスト” (P. 45 ページ) を参照してください。
- 接続する一部の外部機器では、正常に動作しない場合があります。

[クランプ位置]

映像の黒部分がつぶれている場合や、緑色になっている場合に最良点に調整します。

1) ▲▼ボタンで [クランプ位置] を選択する

2) ◀▶ボタンまたは <ENTER> ボタンを押す

- [クランプ位置] 個別調整画面が表示されます。

3) ◀▶ボタンで調整する

- 調整値を 1 ~ 255 まで調整できます。

● クランプ位置調整の最適値

黒部分がつぶれている場合：

黒部分のつぶれが最も改善する点が最適値です。

黒部分が緑色になっている場合：

緑色部分が黒くなり、つぶれが改善する点が最適値です。

お知らせ

- [クランプ位置] の調整ができるのは、<COMPUTER 1 IN> 端子または <COMPUTER 2 IN> 端子に信号を入力した場合のみです。
- 信号によって調整できない場合があります。

[映像調整] について (つづき)

[デジタルシネマリアリティー]

2-2、2-3 プルダウン時に適用する機能で、垂直解像度を向上させることができます。

一部の信号入力時のみ有効となります。

525i (480i)、625i (576i)、1125 (1080) /60i、1125 (1080) /50i、S ビデオ信号、ビデオ信号

- 1) ▲▼ボタンで [デジタルシネマリアリティー] を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - [デジタルシネマリアリティー] 個別調整画面が表示されます。
- 3) ◀▶ボタンで [デジタルシネマリアリティー] を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[オン]	[デジタルシネマリアリティー] を有効にします。
[オフ]	[デジタルシネマリアリティー] を無効にします。

[位置調整] について

メニュー画面で、メインメニューから [位置調整] を選び、サブメニューから項目を選んでください。メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P.24 ページ) をご覧ください。

[シフト]

プロジェクターとスクリーンの位置関係が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像位置がずれている場合は、上下左右に映像位置を移動します。

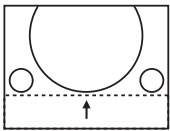
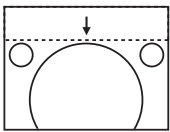
1) ▲▼ボタンで [シフト] を選択する

2) <ENTER> ボタンを押す

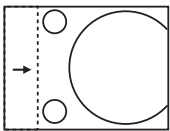
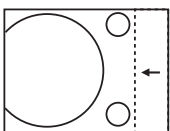
- [シフト] 個別調整画面が表示されます。

3) ▲▼◀▶ボタンで位置調整する

■ 垂直位置 (上下) 調整の場合

操作	変化内容
▲ボタンを押す	映像位置が上へ移動します。 
▼ボタンを押す	映像位置が下へ移動します。 

■ 水平位置 (左右) 調整の場合

操作	変化内容
▶ボタンを押す	映像位置が右へ移動します。 
◀ボタンを押す	映像位置が左へ移動します。 

[クロックフェーズ]

画像のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

1) ▲▼ボタンで [クロックフェーズ] を選択する

2) ◀▶ボタンまたは <ENTER> ボタンを押す

- [クロックフェーズ] 個別調整画面が表示されます。

3) ◀▶ボタンで調整する

- 調整値は、0 ~ +31 まで変化します。ノイズが少なくなるように調整してください。

お知らせ

- 入力しているコンピューターの出力が不安定であると最適値がない場合があります。
- ドットクロック周波数が 162 MHz 以上の信号を投写する場合は、[クロックフェーズ] の調整をしてもノイズがなくなる場合があります。
- 525i (480i)、625i (576i) のコンポーネント (YCbCr) 信号入力時は調整できません。
- 525i (480i)、625i (576i) のコンピューター (RGB) 信号入力時は調整できません。
- デジタル信号入力時は調整できません。

[オーバースキャン]

- S-VIDEO/VIDEO/YCbCr/YPbPr/RGB (動画) /DVI (動画) /HDMI (動画) 信号入力時のみ

投写映像の周辺で文字や映像が欠ける場合に調整します。

1) ▲▼ボタンで [オーバースキャン] を選択する

2) ◀▶ボタンまたは <ENTER> ボタンを押す

- [オーバースキャン] 個別調整画面が表示されます。

3) ◀▶ボタンで調整する

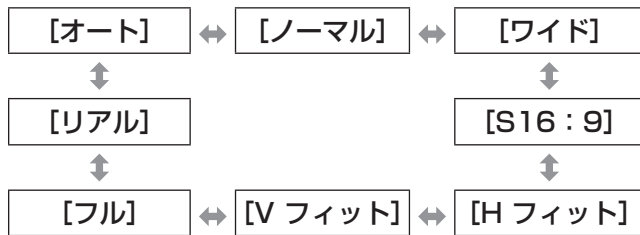
- 調整値は、0 ~ +10 です。

[位置調整] について (つづき)

[アスペクト]

映像の縦横比（アスペクト比）を切り換えます。

- 1) ▲▼ボタンで [アスペクト] を選択する
- 2) ◀▶ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
 - [アスペクト] 個別調整画面が表示されます。
- 3) ◀▶ボタンで設定を切り換える
 - ボタンを押すごとに、各図のように切り換わります。



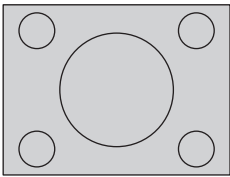
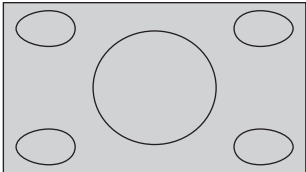
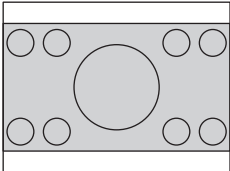
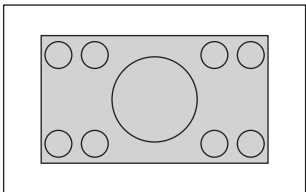
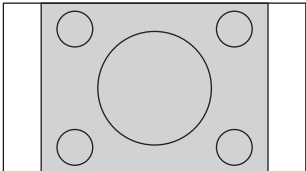
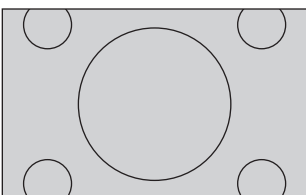
お願い

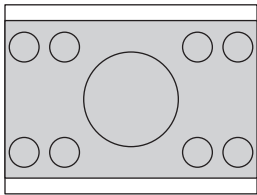
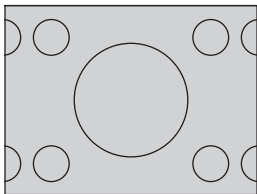
- アスペクト比 4:3 の映像を [フル] で出力すると、変形したり、周辺画像が一部見えなくなったりします。制作者の意図を尊重した映像は、元のアスペクト比で投写してください。

お知らせ

- [オート] は NTSC、525i (480i) 入力時のみ表示されます。
- [S16:9] はアスペクト比が 16:10、16:9、15:9 のワイド信号を入力時のみ表示されます。
- 入力信号によってはアスペクトモードを切り換えても、投写画面が変わらない場合があります。
- 入力信号によっては、選択できないアスペクトモードがあります。
- 入力している信号と異なるアスペクト比を選択すると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト比の切り換えを利用し、画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
- [オート] に設定したとき、入力信号にアスペクト比の識別信号が含まれている場合、自動的に最適なアスペクト設定に切り換わります。
- Sビデオ、ビデオ、コンポーネント (YCbCr/YPbPr) 信号の場合、[オート] が表示されません。
- シネマビジョンサイズなどの 16:9 よりも横長の映像を投写すると、上下に黒い領域ができる場合があります。

アスペクトモード	画面
<p>[ノーマル] アスペクト比を維持したまま、水平または垂直方向どちらかの、〈DIGITAL LINK〉端子から出力される映像信号の有効領域をすべて使って、画像が切れないように出力します。</p>	<p>入力信号</p> <p>↓</p> <p>投写画面</p>
<p>[ワイド] アスペクト比を 16:9 にして出力します。15:9 信号、16:9 信号、16:10 信号入力時は、入力アスペクト比のまま出力します。</p>	<p>入力信号</p> <p>↓</p> <p>投写画面</p>
<p>[S16:9] アスペクト比 16:9 の映像を 4:3 のスクリーンサイズで出力します。</p>	<p>入力信号</p> <p>↓</p> <p>投写画面</p>

アスペクトモード	画面
<p>【フル】 <DIGITAL LINK> 端子から出力される映像信号の有効領域すべてを使って映像を出力します。</p>	<p>入力信号</p>  <p>↓</p> <p>投写画面</p> 
<p>【リアル】 リサイズを行わず、入力信号の解像度のまま出力します。</p>	<p>入力信号</p>  <p>↓</p> <p>投写画面</p> 
<p>【H フィット】 アスペクト比を固定したまま <DIGITAL LINK> 端子から出力される映像信号の水平方向の有効領域すべてを使って映像を出力します。</p>	<p>入力信号</p>  <p>↓</p> <p>投写画面</p> 

アスペクトモード	画面
<p>【V フィット】 アスペクト比を固定したまま <DIGITAL LINK> 端子から出力される映像信号の垂直方向の有効領域すべてを使って映像を出力します。</p>	<p>入力信号</p>  <p>↓</p> <p>投写画面</p> 

[入力解像度]

画面のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

- 1) ▲▼ボタンで **【入力解像度】** を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - **【入力解像度】** 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで **【総ドット数】**、**【表示ドット数】**、**【総ライン数】** または **【表示ライン数】** を選択し、◀▶ボタンで調整する
 - 各項目には入力した信号に応じた数値が自動的に表示されます。画面に縦縞や画面欠けが発生する場合、表示された数値を上下させて画面を見ながら最適な点に調整してください。

お知らせ

- 全白信号入力では上記縦縞は発生しません。
- 調整中に画像が乱れる場合がありますが、異常ではありません。
- **【入力解像度】** の調整ができるのは、<COMPUTER 1 IN> 端子または <COMPUTER 2 IN> 端子に信号を入力した場合のみです。






[表示言語] について

メニュー画面で、メインメニューから [表示言語] を選び、サブメニューを表示させます。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P.24 ページ) をご覧ください。

表示言語を切り換える

オンスクリーン表示の言語を切り換えます。

- ▲▼ボタンで言語を選び、〈ENTER〉ボタンを押して決定してください。

ET-YFB100	DIGITAL INTERFACE BOX	
 入力選択	FRANÇAIS	
 映像調整	ENGLISH	
 位置調整	中文	
 表示言語	● 日本語	
 その他の設定		

- 切り換えた言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などが表示されます。
- フランス語、英語、中国語、日本語の切り換えができます。

[その他の設定] について

メニュー画面で、メインメニューから [その他の設定] を選び、サブメニューから項目を選んでください。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P.24 ページ) をご覧ください。

[OSD デザイン]

メニュー画面 (OSD) の色を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [OSD デザイン] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [OSD デザイン] を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[タイプ 1]	↔	[タイプ 2]
[タイプ 1]	背景を青色で表示します。	
[タイプ 2]	背景を黒色で表示します。	

[RGB 同期信号終端抵抗] (RGB 信号入力時のみ対応)

同期信号入力の入力インピーダンスを切り換えます。

- 1) ▲▼ボタンで [RGB 同期信号終端抵抗] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [RGB 同期信号終端抵抗] を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[低]	↔	[高]
[低]	入力インピーダンスを [低] にします。	
[高]	入力インピーダンスを [高] にします。	

[クローズドキャプション設定]

- NTSC、525i (480i) 入力時のみクローズドキャプションを設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [クローズドキャプション設定] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [クローズドキャプション設定] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで設定を切り換える

■ [クローズドキャプション]

クローズドキャプションを表示するかどうかを設定します。

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[オフ]	↔	[オン]
[オフ]	クローズドキャプションを表示しません。	
[オン]	クローズドキャプションを表示します。	

■ [モード]

クローズドキャプションのモードを設定します。

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

[CC1]	↔	[CC2]
↓		↓
[CC4]	↔	[CC3]
[CC1]	CC1 のデータを表示します。	
[CC2]	CC2 のデータを表示します。	
[CC3]	CC3 のデータを表示します。	
[CC4]	CC4 のデータを表示します。	

お知らせ

- クローズドキャプションは、主に北米で使用されている映像信号の文字情報を表示する機能です。接続する機器や再生するコンテンツによってはクローズドキャプションが表示できません。
- 本機のメニュー画面表示中は、クローズドキャプションは表示されません。

[その他の設定] について (つづき)

[バックカラー]

信号が入力されていないときの出力画面の色を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [バックカラー] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [バックカラー] を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[ブルー]	投写画面全体に青色を表示します。
[ブラック]	投写画面全体に黒色を表示します。

[SXGA モード]

SXGA 入力時に、映像全体が表示されていない場合に設定します。

通常は [SXGA] に設定してください。

- 1) ▲▼ボタンで [SXGA モード] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [SXGA モード] を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[SXGA]	[SXGA] に設定して映像全体が表示されている場合
[SXGA+]	[SXGA] に設定して映像全体が表示されていない場合

[ワイドモード]

ワイド信号を入力しても 4 : 3 のアスペクト比で投写される場合に設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [ワイドモード] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [ワイドモード] を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



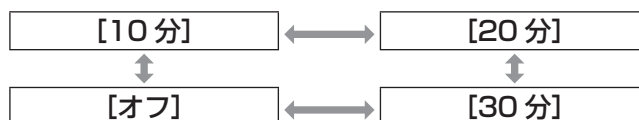
[オン]	ワイド信号を入力する場合
[オフ]	4 : 3 の信号を入力する場合

[無信号休止]

選択している映像入力端子に信号が入力されていないと本機が判断した場合に、〈DIGITAL LINK〉端子からの出力を停止させるまでの時間を設定します。これにより、本機およびプロジェクターの消費電力を低減できます。

- 1) ▲▼ボタンで [無信号休止] を選択する
- 2) ◀▶ボタンで [無信号休止] を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[10分]	10分間信号の入力がないときに、信号の出力を停止します。
[20分]	20分間信号の入力がないときに、信号の出力を停止します。
[30分]	30分間信号の入力がないときに、信号の出力を停止します。
[オフ]	[無信号休止] を無効にします。

お知らせ

- DIGITAL LINK 対応プロジェクター接続時のみ設定が可能です。
- ログ転送ソフトウェアでプロジェクター本体にユーザーロゴを転送する場合は、本機能を [オフ] に設定してから実行してください。設定時間を越えて出力が停止されると、通信が途絶え、ユーザーロゴが正しく転送できないことがあります。
- 〈DIGITAL LINK〉端子からの出力が停止すると同時に、〈AUDIO OUT〉端子からの出力も停止します。

[音声設定]

音声機能の詳細を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [音声設定] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [音声設定] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで項目を選択する

■ [音量] を設定する場合

[音声出力選択] を [AUDIO OUT] に設定している場合に、音声出力の音量を調整します。

- 4) 手順 3) で [音量] を選択する
- 5) ◀▶ボタンで調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	音量が大きくなります。	最大値 63
◀ボタンを押す	音量が小さくなります。	最小値 0

お知らせ

- [音声出力選択] が [オフ] または [DIGITAL LINK] に設定されている場合は無効になります。

■ [バランス] を設定する場合

[音声出力選択] を [AUDIO OUT] に設定している場合に、音声出力の左右の音声バランスを調整します。

- 4) 手順 3) で [バランス] を選択する
- 5) ◀▶ボタンで調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ボタンを押す	右の音量が大きくなります。	L16 ~ R16
◀ボタンを押す	左の音量が大きくなります。	

お知らせ

- [音声出力選択] が [DIGITAL LINK] に設定されている場合は無効になります。

■ [音声出力選択] を設定する場合

音声の出力先を設定します。

- 4) 手順 3) で [音声出力選択] を選択する
- 5) ◀▶ボタンで [音声出力選択] を切り換える



[DIGITAL LINK]	<DIGITAL LINK> 端子へ音声を出します。
[AUDIO OUT]	<AUDIO OUT> 端子へ音声を出します。
[オフ]	音声を出力しません。

■ [音声入力選択] を設定する場合

映像入力端子ごとに、対応する音声入力を設定します。

- 4) 手順 3) で [音声入力選択] を選択する
- 5) <ENTER> ボタンを押す
 - [音声入力選択] 画面が表示されます。
- 6) ▲▼ボタンで項目を選択する
- 7) ◀▶ボタンで設定を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

- [HDMI 1] または [HDMI 2] を設定する場合



*1 [HDMI 2] を選択している場合は、[HDMI 2 AUDIO IN] になります。

- [HDMI 1] および [HDMI 2] 以外を設定する場合



[HDMI 1 AUDIO IN]	選択している入力端子に映像信号が入力されると、<HDMI IN 1> 端子の音声を出します。
[HDMI 2 AUDIO IN]	選択している入力端子に映像信号が入力されると、<HDMI IN 2> 端子の音声を出します。
[AUDIO IN]	選択している入力端子に映像信号が入力されると、<AUDIO IN> 端子の音声を出します。
[オフ]	入力選択時に音声を出力しません。

お知らせ

- 選択している入力端子に映像信号が入力されていない場合、音声は出力されません。

[その他の設定] について (つづき)

[自動位置補正]

オートセットアップ機能を設定します。通常は [オート] に設定してください。

- 1) ▲▼ボタンで [自動位置補正] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [自動位置補正] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで [自動位置補正設定] を選択する
- 4) ◀▶ボタンで [自動位置補正設定] を切り換える
 - ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



[オート]	投写中の映像信号がコンピューター信号が変わると、オートセットアップ機能が動作します。
[マニュアル]	手動でオートセットアップ機能を動作させます。 この項目についての詳細は、“手動でオートセットアップ機能を動作させる場合”の手順 5) ~ 7) をご覧ください。

■ 手動でオートセットアップ機能を動作させる場合

- 5) 手順 4) で [マニュアル] を選択する
- 6) ▲▼ボタンで [自動位置補正] を選択する
- 7) <ENTER> ボタンを押す

お知らせ

- コンピューター信号、HDMI 信号入力時のみ動作します。

[出力解像度]

<DIGITAL LINK> 端子から出力される映像の解像度を設定します。

- 1) ▲▼ボタンで [出力解像度] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [出力解像度] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ボタンで設定したい項目を選択する

[オート]	解像度を自動的に選択します。
[1920x1200]	WUXGA (1 920 x 1 200 ドット) 規格で出力します。
[1920x1080]	1080p (1 920 x 1 080 ドット) 規格で出力します。
[1280x800]	WXGA (1 280 x 800 ドット) 規格で出力します。
[1024x768]	XGA (1 024 x 768 ドット) 規格で出力します。

- 4) <ENTER> ボタンを押す

お知らせ

- [オート] に設定した場合、出力解像度は入力信号により異なります。
 - ・ 720/1080 信号：そのまま出力されます。
 - ・ 480/576 信号：1080p に変換して出力されます。
 - ・ その他の信号：
ご使用のプロジェクターのパネル解像度に変換して出力されます。ただし、プロジェクターのパネル解像度が不明の場合は 1 024 x 768 で出力されます。
- [オート] に設定すると、自動的にご使用のプロジェクターに適した解像度、階調で出力されますが、入力切替の際に映像が出力されるまでに時間がかかります。[オート] 以外に設定すると、動画系信号入力時に映像の動きなどが不自然になることがあります。入力切替時間を早めることができます。
- [出力解像度] を [オート] 以外に設定したとき、接続しているプロジェクターによっては映像が投写されなくなる場合があります。この場合、[出力解像度] の設定を [オート] に戻すには、本体操作部の <RETURN> ボタンを 3 回押したあと、<ENTER> ボタンと <RETURN> ボタンを同時に押します。

[ステータス]

本機の状態を表示します。

1) ▲▼ボタンで [ステータス] を選択する

2) <ENTER> ボタンを押す

- [ステータス] 画面が表示されます。

[信号]

[名前]	入力信号名を表示します。
[周波数]	入力信号の周波数を表示します。

[シリアル番号]

[INTERFACE BOX]	本機のシリアル番号を表示します。
-----------------	------------------

[全設定初期化]

各種設定値を工場出荷時の値に戻します。

この操作を実行したあと、本機の <POWER> ボタンを切 / 入してください。

1) ▲▼ボタンで [全設定初期化] を選択する

2) <ENTER> ボタンを押す

- [本機の電源ボタンを OFF にする必要があります。よろしいですか?] とメッセージが表示されます。

3) ◀▶ボタンで [はい] を選択する

4) <ENTER> ボタンを押す

- [本機の電源ボタンを OFF にしたあと、再度 ON してください。] とメッセージが表示されます。

5) <POWER> ボタンを押して電源を切る

6) 再度、<POWER> ボタンを押して電源を入れる

- 初期化処理中は入力端子インジケータがすべて点灯します。そのまま、お待ちください。
- 選択している入力端子の入力端子インジケータ以外が消灯したら、そのままご使用になります。

お手入れ

長期間の使用で、本機の上面および側面の放熱穴がゴミやほこりによってふさがれることがあります。放熱穴は定期的に掃除してください。

外装ケースの汚れやほこりはやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- ゴミやほこりを取り除くときは、本機内部に落とさないようにしてください。
- 汚れがひどいときには水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際は、ベンジン・シンナー、アルコール等の溶剤、または台所用洗剤を使用しないでください。使用すると塗装がはがれたり、変色したりするおそれがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

故障かな！？

もう一度次の点をお調べください。詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ● 電源コネクタが AC アダプターにしっかり差し込まれていますか。 ● AC アダプターのプラグが本機にしっかり差し込まれていますか。 ● 電源プラグを差し込んでいるコンセントは通電していますか。 ● ブレーカーが落ちていませんか。 	— — — — —
映像がでない	<ul style="list-style-type: none"> ● 映像（出力）機器やプロジェクターとの接続は正しく行われていますか。 ● プロジェクターの入力設定が DIGITAL LINK になっていますか？ ● 入力切り換えは正しく選択されていますか。 ● 本機に接続している外部機器は、正常に動作していますか。 ● 接点制御が有効になっていませんか。 	15 22 23 — 44
色が薄い / 色あいが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機に接続しているプロジェクターは正しく調整されていますか。 	15
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 〈AUDIO IN〉端子が正しく接続されていますか。 ● 音量調整が最小になっていませんか。 ● [音声設定] の [音声入力選択] を確認してください。 	11 35 35
リモコンがはたらかない	<ul style="list-style-type: none"> ● DIGITAL LINK に対応していないプロジェクターを接続していませんか。 	—
本体操作部のボタンがはたらかない	<ul style="list-style-type: none"> ● 接点制御が有効になっていませんか。 	44
正常な映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● [システムセレクター] の選択は正しく行われていますか。 ● ビデオテープなど、映像ソース側に異常はありませんか。 ● 本機が対応できない信号を入力していませんか。 	27 — 45
コンピューターからの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● ケーブルが長くありませんか。（10 m 以下にしてください。） ● ノート型コンピューターの外部映像出力が、正しく設定されていますか。 - 例：「Fn」 + 「F3」 キーを同時に押すと、外部出力設定が切り換わる場合があります。コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューター付属の説明書をご覧ください。 	— —
HDMI 対応機器の映像が出ない、乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ● HDMI ケーブルが確実に接続されていますか。 ● 本体の電源および接続機器の電源を切 / 入してください。 ● 本機が対応できない信号が入力されていませんか？ 	16 — 45
HDMI 対応機器の音声がでない	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部接続機器の音声をリニア PCM に設定してください。 ● [音声設定] の [音声入力選択] を確認してください。 ● HDMI ケーブル接続で音声がでない場合は、〈AUDIO IN〉端子を使用してください。 	— 35 11

お願い

- 表の内容を確認後、正常に動作しない場合は販売店にご相談ください。（👁️ 51 ページ）

困ったとき

次の内容をご確認ください。

コンピューターからの HDMI 信号入力時に映像が投写画面全体に表示されない

次の 2 つの操作を行ってください。

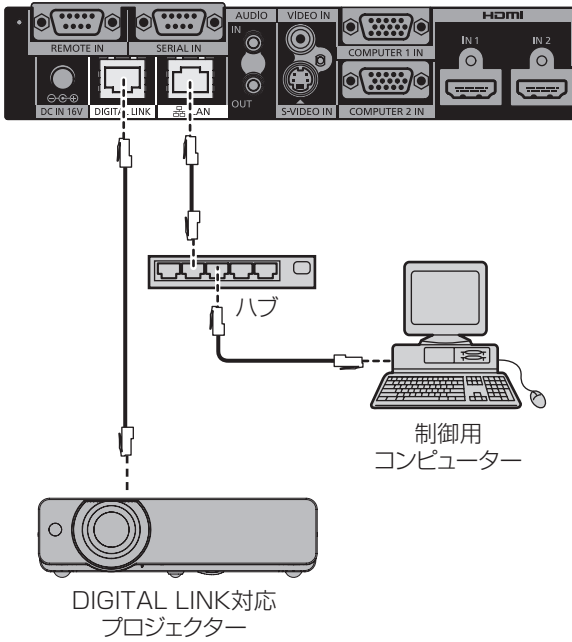
- コンピューターの出力画面のアスペクト比を、プロジェクターの画素（アスペクト比）に合わせる。
例) プロジェクターの画素が 1 024 ドット × 768 ドット (4 : 3) の場合、コンピューターの画面の解像度を 800 × 600 (4 : 3) にする。
- [アスペクト] を [フル] に設定する。(👉 30 ページ)

PJLink プロトコルを使用する

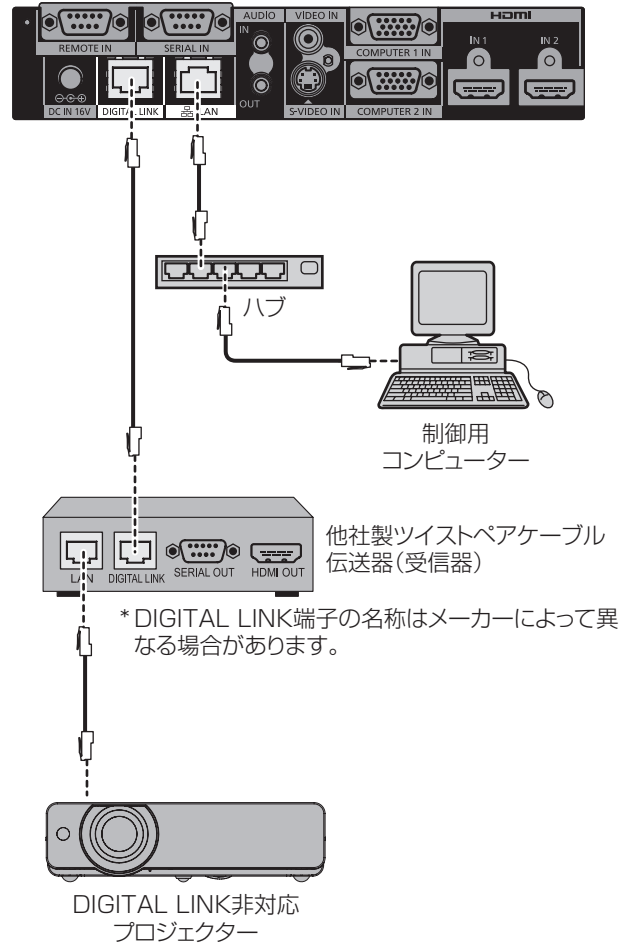
本機の〈LAN〉端子は 100Base-T および 10Base-T に準拠しています。ご使用のプロジェクターに DIGITAL LINK を経由して直接伝送されるので、PJLink プロトコル使用時にはプロジェクターの取扱説明書に従って操作してください。本端子から本機の制御はできません。

■ 接続

● DIGITAL LINK対応プロジェクターと接続する場合



● DIGITAL LINKに対応していないプロジェクターと接続する場合

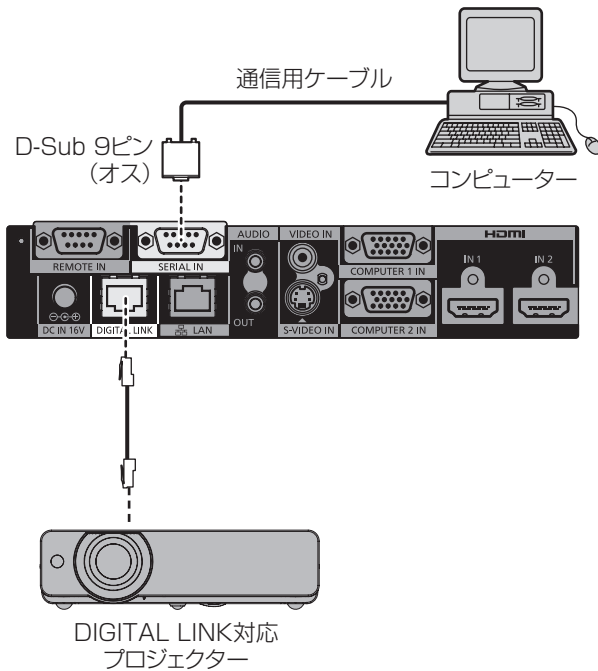


〈SERIAL IN〉 端子について

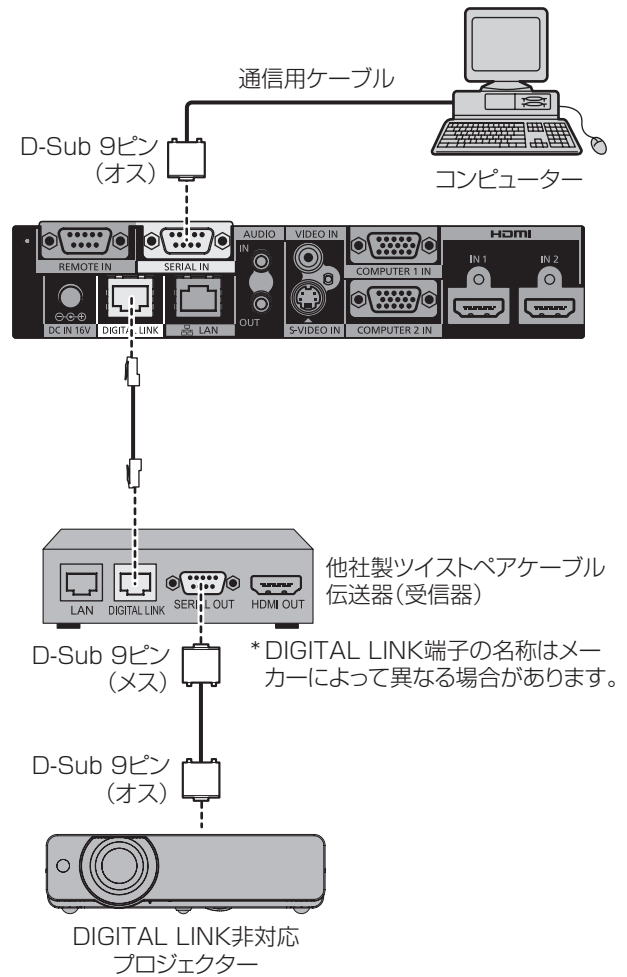
本機の〈SERIAL IN〉端子はRS-232Cに準拠しています。ご使用のプロジェクターにDIGITAL LINKを経由して直接伝送されるので、制御の詳細仕様については、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

■ 接続

● DIGITAL LINK対応プロジェクターと接続する場合



● DIGITAL LINKに対応していないプロジェクターと接続する場合



■ ピン配列と信号名

D-Sub 9ピン (メス) 外側から見た図	ピン No.	信号名	内容
		(1)	—
(2)		TXD	送信データ
(3)		RXD	受信データ
(4)		—	NC
(5)		GND	グラウンド
(6)		—	NC
(7)		CTS	内部で接続されています
(8)		RTS	
(9)		—	NC

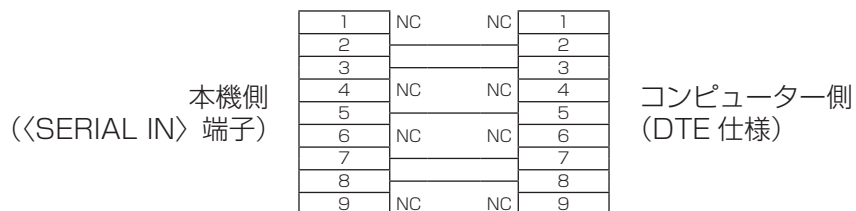
■ 通信条件

信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600 bps
パリティ	なし

キャラクター長	8ビット
ストップビット	1ビット
Xパラメーター	なし
Sパラメーター	なし

■ ケーブル仕様

● コンピューターと接続する場合



■ 制御コマンド

コンピューターで本機を制御する際のコマンドは下表のとおりです。
[操作コマンド]

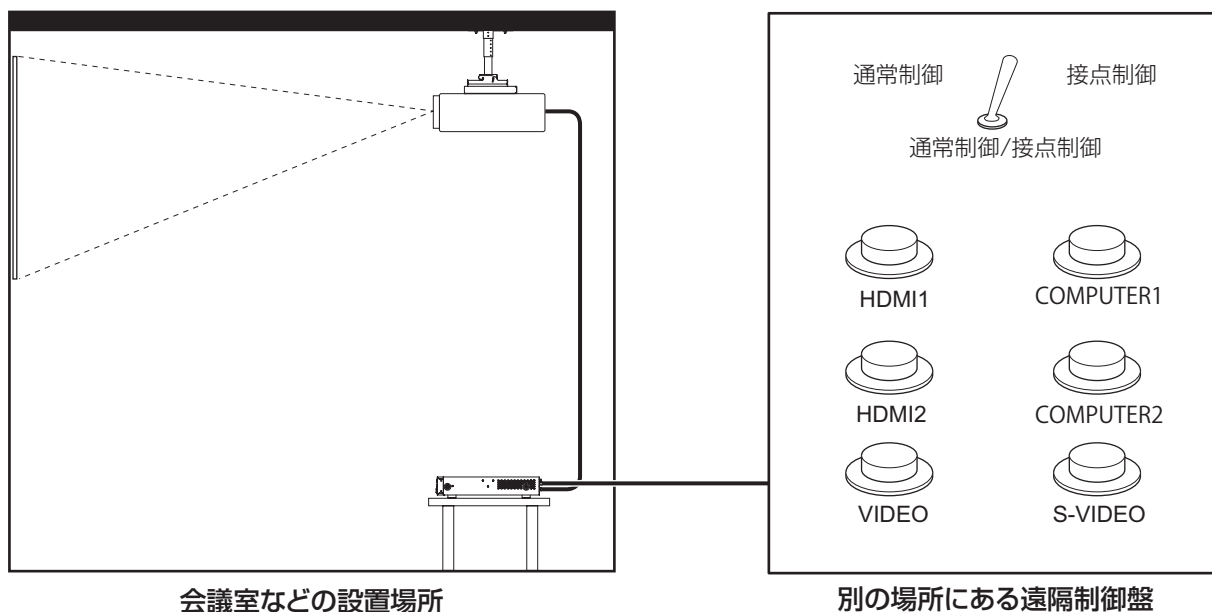
コマンド	内容	パラメーター	備考
IIS	入力信号切り換え	DL1:VID DL1:SVD DL1:PC1 DL1:PC2 DL1:HD1 DL1:HD2	VIDEO S-VIDEO COMPUTER1 COMPUTER2 HDMI1 HDMI2

お知らせ

- DIGITAL LINK 対応プロジェクター接続時のみ制御が可能です。
- 本機と接続しているプロジェクター本体の制御コマンドについては、ご使用のプロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

〈REMOTE IN〉 端子について

本機の〈REMOTE IN〉端子を使用することで、リモコン信号がプロジェクターに届かない場合でも、別の場所に設けた制御盤などから本機を遠隔制御（接点制御）することができます。



■ ピン配列と信号名

D-Sub 9ピン (外側から見た図)	ピン No.	信号名	オープン (H)	ショート (L)
	(1)	GND	—	GND
	(2)	—	—	—
	(3)	HDMI 1	その他	HDMI 1
	(4)	HDMI 2	その他	HDMI 2
	(5)	COMPUTER 1	その他	COMPUTER 1
	(6)	COMPUTER 2	その他	COMPUTER 2
	(7)	VIDEO	その他	VIDEO
	(8)	S-VIDEO	その他	S-VIDEO
	(9)	有効 / 無効	通常制御	外部接点制御

お願い

- 制御を行う場合は必ず、(1) 番、(9) 番ピンを短絡させてください。
- (1) 番、(9) 番ピンを短絡させると、本機の〈HDMI 1〉 / 〈HDMI 2〉 / 〈COMPUTER 1〉 / 〈COMPUTER 2〉 / 〈S-VIDEO〉 / 〈VIDEO〉 ボタン、メニューの [入力選択] の項目、および RS-232C の入力信号切り換えコマンドが使用できなくなります。

対応信号リスト

本機が入力で対応している映像信号は下表のとおりです。

対応信号	信号名表示	解像度 (ドット)	走査周波数		ドットク ロック 周波数 (MHz)	フォー マット ^{*1}	プラグアンドプレ イ対応	
			水平 (kHz)	垂直 (Hz)			COMPUTER 1/2	HDMI 1/2
NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	—	—	15.7	59.9	—	V/S	—	—
PAL/PAL-N/SECAM	—	—	15.6	50.0	—	V/S	—	—
525i (480i)	480i	720 x 480i	15.7	59.9	13.5	R/Y	—	—
625i (576i)	576i	720 x 576i	15.6	50.0	13.5	R/Y	—	—
525p (480p)	480p	720 x 483	31.5	59.9	27.0	R/Y/H	—	✓
625p (576p)	576p	720 x 576	31.3	50.0	27.0	R/Y/H	—	✓
750 (720) /60p	720/60p	1 280 x 720	45.0	60.0	74.3	R/Y/H	—	✓
750 (720) /50p	720/50p	1 280 x 720	37.5	50.0	74.3	R/Y/H	—	✓
1125 (1080) /60i	1080/60i	1 920 x 1 080i	33.8	60.0	74.3	R/Y/H	—	✓
1125 (1080) /50i	1080/50i	1 920 x 1 080i	28.1	50.0	74.3	R/Y/H	—	✓
1125 (1080) /24p	1080/24p	1 920 x 1 080	27.0	24.0	74.3	R/Y/H	—	✓
1125 (1080) /25p	1080/25p	1 920 x 1 080	28.1	25.0	74.3	R/Y/H	—	—
1125 (1080) /30p	1080/30p	1 920 x 1 080	33.8	30.0	74.3	R/Y/H	—	—
1125 (1080) /60p	1080/60p	1 920 x 1 080	67.5	60.0	148.5	R/Y/H	—	✓
1125 (1080) /50p	1080/50p	1 920 x 1 080	56.3	50.0	148.5	R/Y/H	—	✓
VGA400	VGA85	640 x 400	37.9	85.1	31.5	R/H	—	—
	VGA70	640 x 400	31.5	70.1	25.2	R/H	—	—
VGA	VGA60	640 x 480	31.5	59.9	25.2	R/H	✓	✓
	VGA67	640 x 480	35.0	66.7	30.2	R/H	—	—
	VGA73	640 x 480	37.9	72.8	31.5	R/H	✓	✓
	VGA75	640 x 480	37.5	75.0	31.5	R/H	✓	✓
	VGA85	640 x 480	43.3	85.0	36.0	R/H	—	—
SVGA	SVGA56	800 x 600	35.2	56.3	36.0	R/H	✓	✓
	SVGA60	800 x 600	37.9	60.3	40.0	R/H	✓	✓
	SVGA72	800 x 600	48.1	72.2	50.0	R/H	✓	✓
	SVGA75	800 x 600	46.9	75.0	49.5	R/H	✓	✓
	SVGA85	800 x 600	53.7	85.1	56.3	R/H	—	—
MAC16	MAC16	832 x 624	49.7	74.6	57.3	R/H	✓	✓
XGA	XGA50	1 024 x 768	39.6	50.0	51.9	R/H	—	—
	XGA60	1 024 x 768	48.4	60.0	65.0	R/H	✓	✓
	XGA70	1 024 x 768	56.5	70.1	75.0	R/H	✓	✓
	XGA75	1 024 x 768	60.0	75.0	78.8	R/H	✓	✓
	XGA82	1 024 x 768	65.5	81.6	86.0	R/H	—	—
	XGA85	1 024 x 768	68.7	85.0	94.5	R/H	—	—
	XGA100	1 024 x 768	80.0	100.0	105.0	R/H	—	—
	XGA120	1 024 x 768	99.0	119.8	137.8	R/H	—	—
MXGA	MXGA70	1 152 x 864	64.0	70.0	94.2	R/H	—	—
	MXGA75	1 152 x 864	67.5	74.9	108.0	R/H	—	—
	MXGA85	1 152 x 864	77.1	85.0	119.7	R/H	—	—
MAC21	MAC21	1 152 x 870	68.7	75.1	100.0	R/H	✓	✓
1280 x 720	1280 x 720/50	1 280 x 720	37.1	49.8	60.5	R/H	—	—
	1280 x 720/60	1 280 x 720	44.8	59.9	74.5	R/H	—	—
1280 x 768	1280 x 768/50	1 280 x 768	39.6	49.9	65.3	R/H	—	—
	1280 x 768/60	1 280 x 768	47.8	59.9	79.5	R/H	—	—
1280 x 800	1280 x 800/50	1 280 x 800	41.3	50.0	68.0	R/H	—	—
	1280 x 800/60	1 280 x 800	49.7	59.8	83.5	R/H	—	—
MSXGA	MSXGA60	1 280 x 960	60.0	60.0	108.0	R/H	—	—

付録 (つづき)

対応信号	信号名表示	解像度 (ドット)	走査周波数		ドットク ロック 周波数 (MHz)	フォー マット*1	プラグアンドプレ イ対応	
			水平 (kHz)	垂直 (Hz)			COMPUTER 1/2	HDMI 1/2
SXGA	SXGA60	1 280 x 1 024	64.0	60.0	108.0	R/H	✓	✓
	SXGA75	1 280 x 1 024	80.0	75.0	135.0	R/H	✓	✓
	SXGA85	1 280 x 1 024	91.1	85.0	157.5	R/H	—	—
SXGA+	SXGA+60	1 400 x 1 050	65.2	60.0	122.6	R/H	—	—
	SXGA+60	1 400 x 1 050	65.3	60.0	121.8	R/H	✓	✓
	SXGA+75	1 400 x 1 050	82.2	75.0	155.9	R/H	—	—
WXGA+	WXGA+60	1 440 x 900	55.9	59.9	106.5	R/H	—	—
UXGA	UXGA60	1 600 x 1 200	75.0	60.0	162.0	R/H	✓	✓
WSXGA+	WSXGA+60	1 680 x 1 050	65.3	60.0	146.3	R/H	—	—
1920 x 1080	1920x1080/60	1 920 x 1 080*2	66.6	59.9	138.5	R/H	—	—
WUXGA	WUXGA60RB	1 920 x 1 200*2	74.0	60.0	154.0	R/H	✓	✓

*1：フォーマットを表す記号は下記のとおりです。

V：ビデオ
S：Sビデオ
R：RGB
Y：YCbCr/YPbPr
H：HDMI

*2：VESA CVT-RB (Reduced Blanking) 準拠。

お知らせ

- 解像度のドット数の後ろにある「i」はインターレース信号を意味します。
- インターレース信号接続時は映像にちらつきが発生することがあります。

対応 3D 信号リスト

本機が対応している 3D 信号は、下表の HDMI 信号です。

- 3D に対応していないプロジェクターを接続している場合に 3D 信号が入力されると、映像画面右上に 3D 映像出力ができないことをお知らせするアイコンが表示され、映像が消えます。この場合は入力信号を 2D にしてください。

対応信号	3D 映像信号のフォーマット		
	フレームパッキング	サイドバイサイド	トップアンドボトム
750 (720) /60p	✓*1	✓	✓*1
750 (720) /50p	✓*1	✓	✓*1
1125 (1080) /60i	—	✓*1	—
1125 (1080) /50i	—	✓*1	—
1125 (1080) /24p	✓*1	✓	✓*1
1125 (1080) /60p	—	✓	✓
1125 (1080) /50p	—	✓	✓

*1：HDMI 規格の 3D Mandatory フォーマット信号です。

仕様

本機の仕様は下表のとおりです。

電源		DC 16 V (DC 入力端子)
消費電力		16 W (電源「切」時：0.2 W) (付属の AC アダプターを含む)
AC アダプター	CF-AA6373A	入力：AC 100 V 1.5 A 50 Hz/60 Hz 出力：DC 16 V 3.75 A
	CF-AA6413A	入力：AC 100 V 1.6 A 50 Hz/60 Hz 出力：DC 16 V 4.06 A
対応走査周波数 ^{*1}	HDMI 信号時	水平 27.0 kHz ~ 99.0 kHz 垂直 24.0 Hz ~ 119.8 Hz ドットクロック周波数：25.2 MHz ~ 162.0 MHz
	RGB 信号時	水平 15.6 kHz ~ 99.0 kHz 垂直 24.0 Hz ~ 119.8 Hz ドットクロック周波数：13.5 MHz ~ 162.0 MHz
	YCbCr/YPrPb 信号時	525i (480i)：水平 15.75 kHz 垂直 60 Hz 625i (576i)：水平 15.63 kHz 垂直 50 Hz 525p (480p)：水平 31.5 kHz 垂直 60 Hz 625p (576p)：水平 31.25 kHz 垂直 50 Hz 750 (720) /60p：水平 45.0 kHz 垂直 60 Hz 750 (720) /50p：水平 37.5 kHz 垂直 50 Hz 1125 (1080) /60i：水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz 1125 (1080) /50i：水平 28.13 kHz 垂直 50 Hz 1125 (1080) /25p：水平 28.13 kHz 垂直 25 Hz 1125 (1080) /24p：水平 27.0 kHz 垂直 24 Hz 1125 (1080) /30p：水平 33.75 kHz 垂直 30 Hz 1125 (1080) /60p：水平 67.5 kHz 垂直 60 Hz 1125 (1080) /50p：水平 56.25 kHz 垂直 50 Hz ●3 値 SYNC には対応していません。
	ビデオ信号時 (S ビデオ含む)	水平 15.75 kHz 垂直 60 Hz (NTSC/NTSC4.43/PAL-M/PAL60) 水平 15.63 kHz 垂直 50 Hz (PAL/PAL-N/SECAM)
接続端子	<COMPUTER 1 IN> / <COMPUTER 2 IN> 端子	2 系統 高密度 D-Sub 15 p (メス) RGB 信号 G：0.7 V [p-p] 75 Ω (SYNC ON GREEN 時 1.0 V [p-p] 75 Ω) B、R：0.7 V [p-p] 75 Ω SYNC/HD/VD TTL 正 / 負極性自動対応 YPrPb 信号 Y：1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PbPr：0.7 V [p-p] 75 Ω
	<VIDEO IN> 端子	1 系統 ピンジャック 1.0 V [p-p] 75 Ω
	<S-VIDEO IN> 端子	1 系統 Mini DIN 4 p Y 1.0 V [p-p]、C 0.286 V [p-p] 75 Ω S1 信号に対応
	<HDMI IN 1> / <HDMI IN 2> 端子	2 系統 HDMI 19 ピン (HDCP、Deep Color 対応) 音声信号：リニア PCM (サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz) 525p (480p)、625p (576p)、750 (720)/60p、750 (720)/50p、 1125 (1080)/60i、1125 (1080)/50i、1125 (1080)/60p、1125 (1080)/50p、 1125 (1080)/24p、1125 (1080)/25p、1125 (1080)/30p ●表示可能解像度：VGA (640 x 480 ドット) ~ WUXGA (1 920 x 1 200 ドット)
	<SERIAL IN> 端子	1 系統 D-Sub 9 p 外部制御用 (RS-232C 準拠)
	<AUDIO IN> 端子	1 系統 M3 ステレオミニジャック 0.5 V [rms]、入力インピーダンス 22 kΩ 以上
	<AUDIO OUT> 端子	1 系統 M3 ステレオミニジャック (可変) 0 V [rms] ~ 2.0 V [rms]、出力インピーダンス 2.2 kΩ 以下
	<LAN> 端子	1 系統 RJ-45 ネットワーク接続用 PLink 対応 10Base-T/100Base-TX
	<DIGITAL LINK> 端子	1 系統 RJ-45 DIGITAL LINK 接続用
	<REMOTE IN> 端子	1 系統 D-Sub 9 p 外部制御用 (接点制御)

仕様 (つづき)

外形寸法	横幅：210 mm 高さ：44 mm 奥行：250 mm (突起部含まず)
質量 *2	約 1.15 kg (本体) 約 0.20 kg (AC アダプター)
使用環境条件	使用環境温度：0℃～40℃ *3 使用環境湿度：20%～80% (結露のないこと)

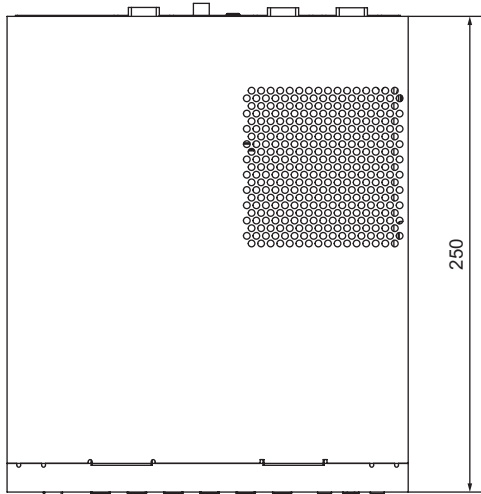
*1：本機が投写できる映像信号について詳しくは、“対応信号リスト” (📖 45 ページ) をご覧ください。

*2：電源コード、取付金具等の付属品は含みません。

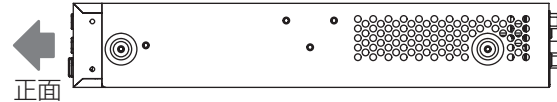
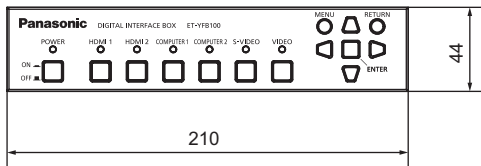
*3：海拔 1 400 m 以上～2 700 m 未満で使用している場合、使用環境温度は 0 ℃～35 ℃になります。また、海拔 2 700 m 以上では使用できません。

外形寸法図

単位：mm



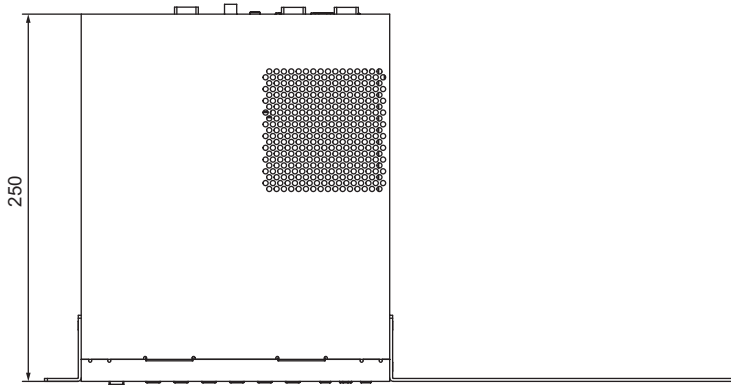
正面



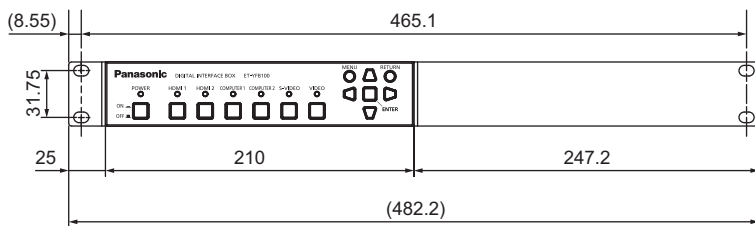
正面

■ ラックに取り付けの場合

単位：mm



正面

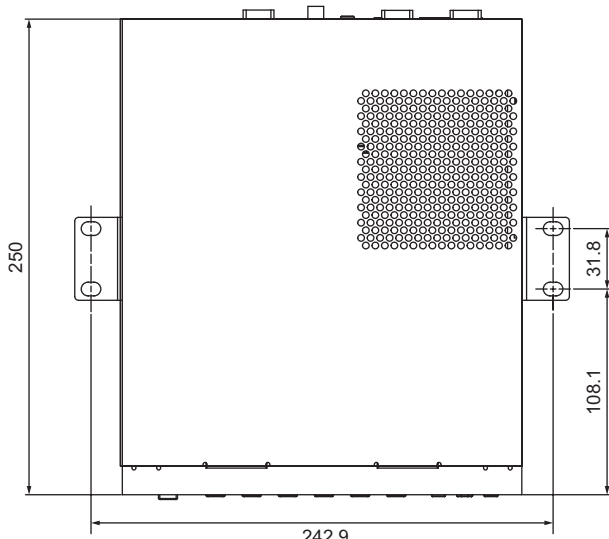


正面

外形寸法図 (つづき)

■ 机の天板裏に取り付けの場合

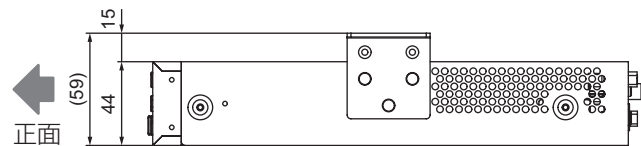
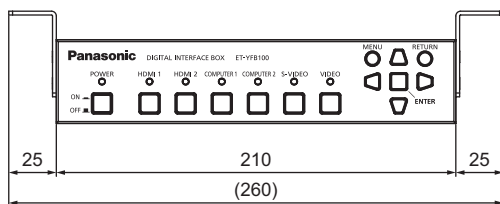
単位：mm



242.9



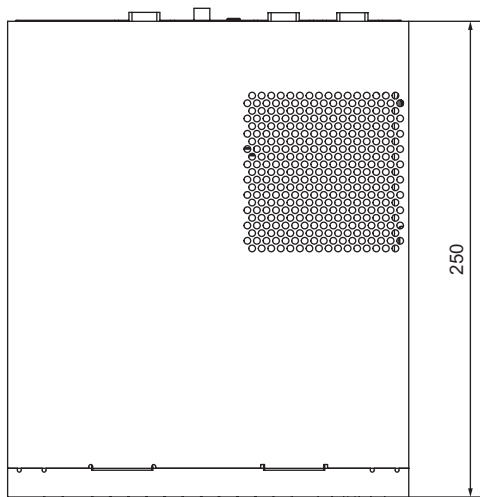
正面



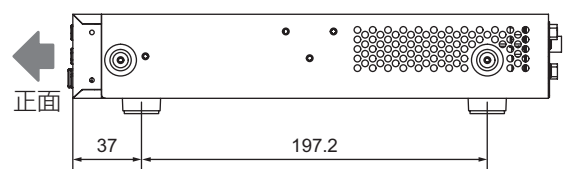
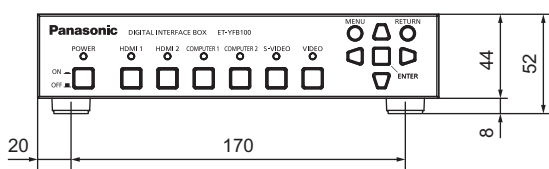
正面

■ 机や棚に置く場合

単位：mm



正面



正面

故障・修理・お取扱い・メンテナンス などのご相談は、まず、 お買い上げの販売店 へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（下記、パナソニック プロジェクター サポートセンター）までご連絡ください。
* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がありますのでご了承ください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社では、デジタルインターフェースボックスの補修用性能部品の、製造打ち切り後、8年間保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理のご依頼について

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡いただきたい内容

品名	デジタルインターフェースボックス
品番	ET-YFB100
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

パナソニック プロジェクターサポートセンター

電話 **フリーダイヤル**  **0120-872-601**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9：00～17：30（12：00～13：00は受付のみ）

URL <https://panasonic.biz/cns/projector/supportcenter/>

- * 文書や電話でお答えすることがあります。また、返事を差しあげるのにお時間をいただくことがあります。
- * お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようおかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

さくいん

A		
AC アダプター	20
AC アダプターの接続	20
〈AUDIO IN〉端子	11
〈AUDIO OUT〉端子	11
C		
CD-ROM	9
〈COMPUTER 1 IN〉端子	11
〈COMPUTER 1〉ボタン	10
〈COMPUTER 2 IN〉端子	11
〈COMPUTER 2〉ボタン	10
D		
〈DC IN〉端子	11, 20
DIGITAL LINK	11
〈DIGITAL LINK〉端子	11
E		
〈ENTER〉ボタン	10
H		
〈HDMI 1〉ボタン	10
〈HDMI 2〉ボタン	10
〈HDMI IN 1〉端子	11
〈HDMI IN 2〉端子	11
L		
〈LAN〉端子	11
M		
〈MENU〉ボタン	10, 24
O		
[OSD デザイン]	33
P		
〈POWER〉ボタン	10, 21
R		
〈REMOTE IN〉端子	11
〈RETURN〉ボタン	10
[RGB 同期信号終端抵抗]	33
RS-232C	42
S		
〈SERIAL IN〉端子	11, 42
〈S-VIDEO IN〉端子	11
〈S-VIDEO〉ボタン	10
[SXGA モード]	34
V		
〈VIDEO IN〉端子	11
〈VIDEO〉ボタン	10
あ		
[アスペクト]	30
アフターサービス	51
安全上のご注意	5
い		
[位置調整]	25, 29
う		
運搬上の留意点	8
え		
[映像調整]	25, 27
お		
[オーバースキャン]	29
オンスクリーンメニュー	24
[音声設定]	35
か		
外形寸法図	49
く		
[クランプ位置]	27
[クローズドキャプション設定]	33
[クロックフェーズ]	29
こ		
工場出荷時の状態に戻す	24
ご使用になる前に	8
し		
[システムセレクター]	27
[自動位置補正]	36
[シフト]	29
修理のご依頼の前に	39
[出力解像度]	36
仕様	47
す		
[ステータス]	37
せ		
接続	15
設置	12
設置に関する留意点	8
[全設定初期化]	37
そ		
[その他の設定]	25, 33
た		
対応 3D 信号リスト	46
対応信号リスト	45
て		
[デジタルシネマリアリティー]	28
電源インジケータ	10
電源コード	20
電源コードの接続	20
電源を入れる	21
電源を切る	21
と		
投写する	22
投写する映像の選択	22
に		
[入力解像度]	31
入力信号切り換え	23
[入力選択]	25, 26
入力端子インジケータ	10
は		
廃棄について	8
[バックカラー]	34
ひ		
[表示言語]	25, 32
ふ		
付属品の確認	9
ほ		
保証とアフターサービス	51
本体	10
む		
[無信号休止]	34
め		
メインメニュー	25
メニュー画面の操作方法	24
メニュー項目	25
り		
リモコン操作	23
わ		
[ワイドモード]	34

■ ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号